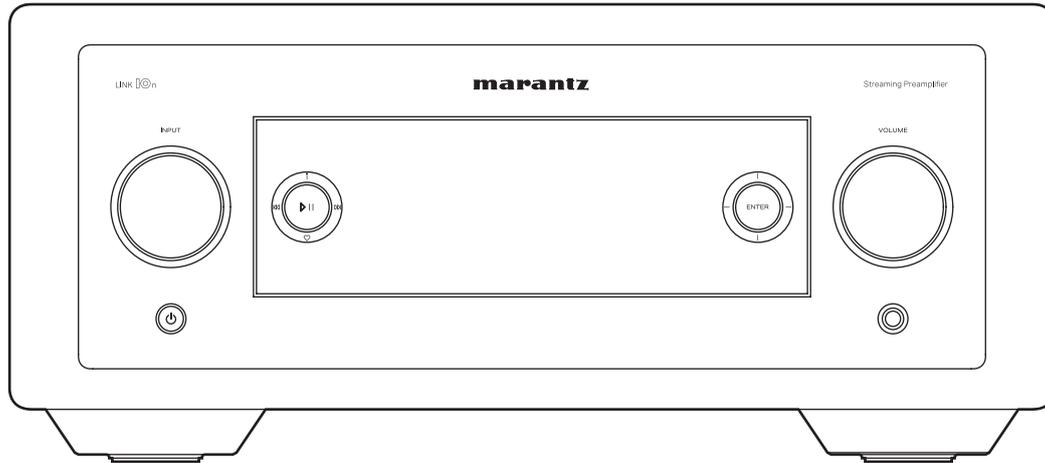


marantz



LINK | On | Streaming Preamp

取扱説明書

目次

使用上のご注意	7
携帯電話使用時のご注意	7
お手入れについて	7
結露(つゆつき)について	7
付属品	8
乾電池の入れかた	9
リモコンの使いかた	9
各部の名前	10
フロントパネル	10
リアパネル	13
リモコン	16

接続のしかた

アンプを接続する	23
サブウーハーを接続する	25
再生機器を接続する	26
テレビを接続する	28
テレビの HDMI ARC 端子に接続する	28
テレビの光デジタルまたは同軸デジタル音声出力端子に接続する	30
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	32
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	33
パソコンまたは Mac と接続する	34
USB 端子に USB メモリーを接続する	35
ホームネットワーク(LAN)に接続する	36
有線 LAN	36
無線 LAN	37
外部のコントロール機器を接続する	38
FLASHER IN 端子	38
リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)	39
電源コードを接続する	41

再生のしかた

基本操作	43
電源を入れる	43
電源をスタンバイにする	43
入力ソースを選ぶ	44
音量を調節する	44
一時的に音を消す(ミュート)	45
インターネットラジオを聴く	46
インターネットラジオを聴く	47
パソコンやNASに保存されているファイルを再生する	48
パソコンやNASに保存されているファイルを再生する	49
USBメモリーを再生する	51
USBメモリーに保存されているファイルを再生する	52
Bluetooth機器の音楽を聴く	54
Bluetooth機器の音楽を聴く	55
2台目以降のBluetooth機器とペアリングする	56
Bluetooth機器から本機に再接続する	57
Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く	58
Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く	59
Bluetoothヘッドホンに再接続する	60
Bluetoothヘッドホンを切断する	60

HEOSアプリをダウンロードする	61
HEOSアプリに初めてHEOS機能搭載機器をセットアップする	62
HEOSアプリにHEOS機能搭載機器の登録を追加する	63
HEOSアカウント	64
ストリーミング音楽サービスを再生する	65
同じ音楽を複数の部屋で聴く	67
デジタル入力を再生する	71
テレビやデジタル機器と接続して再生する(HDMI/Coaxial/Optical 1/Optical 2)	71
パソコンと接続して再生する(USB-DAC)	73
アナログ入力を再生する	83
AirPlay機能	84
iPhone、iPod touch、iPadおよびMacの曲を本機で再生する	85
Windowsパソコンの曲を本機で再生する	85
iPhone、iPod touch、iPadおよびMacの曲を複数の機器で同期して再生する(AirPlay 2)	86
Spotify Connect機能	87
Spotifyの曲を本機で再生する	87

便利な機能	88
HEOS お気に入り再生する	89
HEOS お気に入りに追加する	89
HEOS お気に入りを削除する	90
音質および音量バランスを調節する	90
ソースダイレクトモードで再生する	91
ディスプレイの明るさを切り替える	92
イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える	92
スリープタイマーを設定する	93
音量を常に表示する(“プリアンプアウト”設定が“オン”の場合)	93
スマートセレクト機能	94

設定のしかた

設定メニュー 一覧	95
設定メニューの操作のしかた	97
オーディオ	98
フィルター	98
ディザ	98
ノイズシェーパー	99
プリアンプアウト	99
音量表示	100
音量の上限	100
デジタル出力	100
HP アンプゲイン	100
フォノイコライザー	101
ローパスフィルター	101
テレビ	102
テレビ入力	102
HDMI パワーオフコントロール	103
一般	104
イルミネーション	104
言語	104
オートスタンバイ	105
リセット	105

ネットワーク	106
ネットワーク情報	106
Wi-Fi	106
Bluetooth	107
ネットワーク制御	108
AirPlay 設定	109
ルーターの WPS ボタンを使ってネットワークに接続する	110
リモコンのアンプ/SACD プレーヤー操作モードを無効にする	111
アンプ操作モードを無効にする	112
SACD プレーヤー操作モードを無効にする	112
リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定する	113
ストリーミングプリアンプ操作モード時の音量調節ボタンの操作対象機器を設定する	114
SACD プレーヤー操作モード時の音量調節ボタンの操作対象機器を設定する	114

困ったときは

こんなときの解決方法	116
故障かな？と思ったら	118
電源が入らない / 電源が切れる	119
リモコンで操作ができない	120
本機のディスプレイが表示されない	121
音がまったく出ない	121
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	122
希望する音が出ない	123
AirPlay 再生ができない	124
USB メモリーが再生できない	125
Bluetooth が再生できない	126
インターネットラジオが再生できない	128
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない (ミュージックサーバー)	129
各種オンラインサービスが再生できない	130
無線 LAN ネットワークに接続できない	130
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない (USB-DAC)	131
デジタル機器の音声を再生できない (HDMI ARC/ Coaxial/Optical 1/2)	132
入力ソースが“HDMI”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に切り替わる	132
HDMI コントロール機能がはたらかない	132
アップデート/アップグレードエラーメッセージ	133

ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す	134
ファクトリーリストア	135
保証と修理について	136

付録

USB メモリーの再生について	138
デジタル入力	139
Bluetooth 機器の再生について	140
パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について	141
インターネットラジオの再生について	143
ラストファンクションメモリー	143
HDMI について	144
用語の解説	145
登録商標について	149
主な仕様	151
索引	156

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

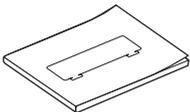
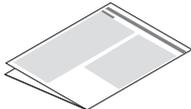
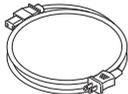
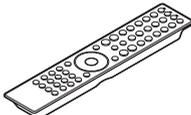
お買い上げいただきありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

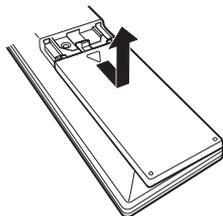
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

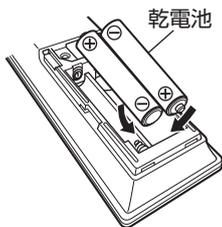
 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>電波に関するご注意</p>
 <p>保証書</p>	 <p>電源コード【本機専用】</p>	 <p>リモコン (RC004PMND)</p>	 <p>単4形乾電池(2本)</p>
 <p>オーディオケーブル</p>	 <p>リモート接続ケーブル</p>	 <p>Bluetooth/無線LAN 用 外部アンテナ(2本)</p>	

乾電池の入れかた

- 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



- 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



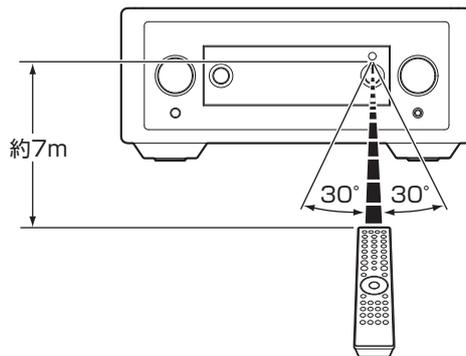
- 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

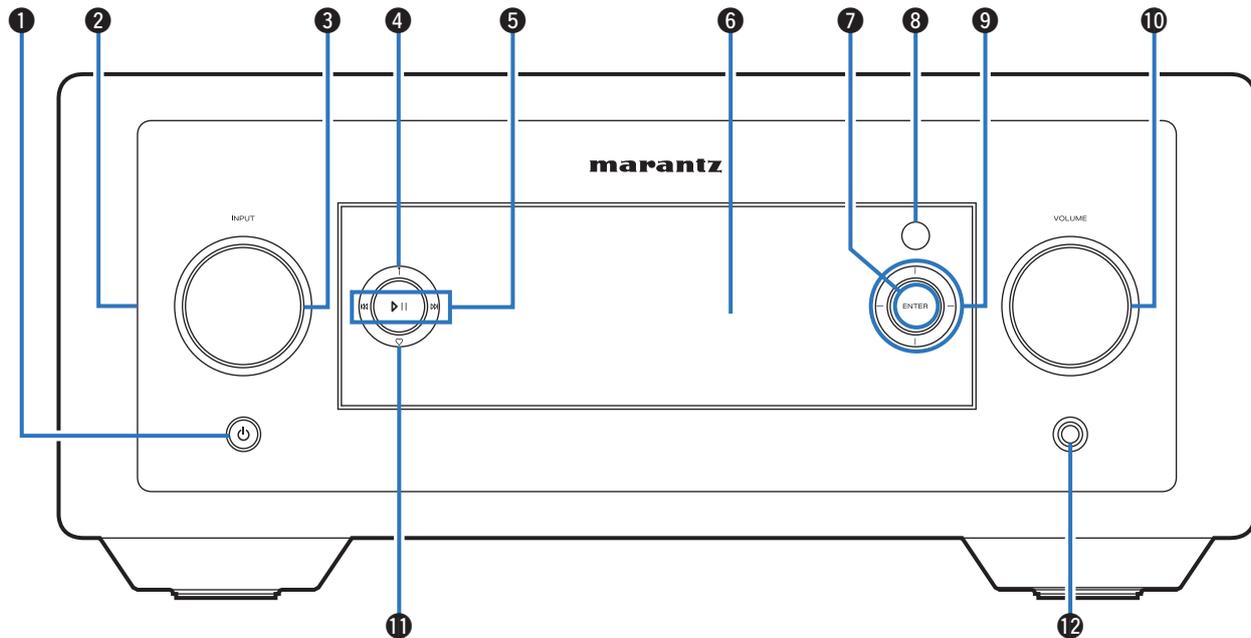
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。

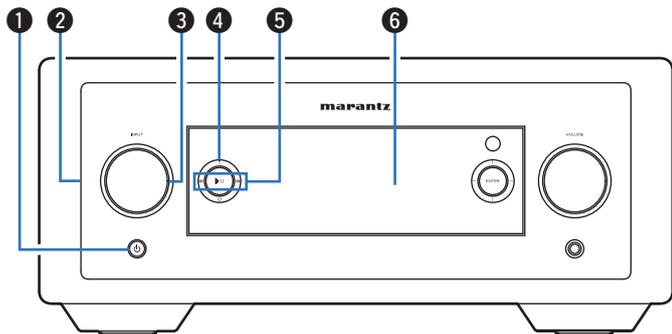


各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① 電源ボタン(⏻)/電源表示

- 電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.43 ページ)
- 電源の状態によって、次のように点灯します。
 - 電源オン時: 白色
 - スタンバイ時: 消灯
 - 保護回路動作時: 橙色(点滅)

② イルミネーション

電源をオンにすると点灯します。明るさを調節したり消灯したりできます。

- 「イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える」(P.92 ページ)
- 「イルミネーション」(P.104 ページ)

③ 入力ソース切り替えつまみ(INPUT)

入力ソースを切り替えます。(P.44 ページ)

④ インフォメーションボタン(i)

ディスプレイに表示する、再生中のコンテンツ情報を切り替えます。

⑤ システムボタン

再生に関する操作をします。

- プレイ/ポーズボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、一時停止します。一時停止または停止中に押すと、再生を再開します。

- スキップボタン(⏭)

再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。

- スキップボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。



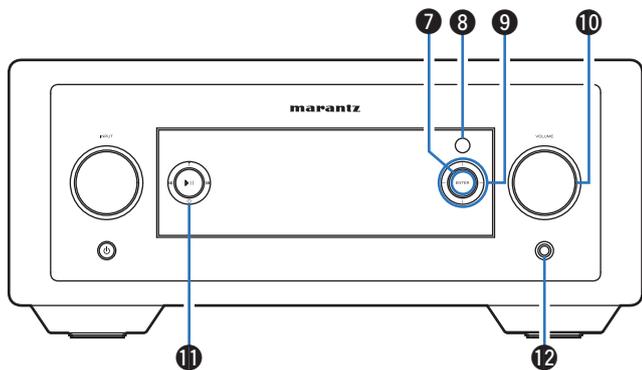
- 入力ソースやオンラインサービスによっては、操作できません。

⑥ ディスプレイ

各種情報を表示します。

ご注意

- 本機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



⑦ エンターボタン(ENTER)

選択した内容を確定します。

⑧ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.9 ページ)

⑨ カーソルボタン

項目を選択します。

⑩ 音量調節つまみ(VOLUME)

音量を調節します。(P.44 ページ)

⑪ お気に入りボタン(♡)

“HEOS お気に入り”に登録されたコンテンツを呼び出しできます。(P.89 ページ)

⑫ ヘッドホン端子

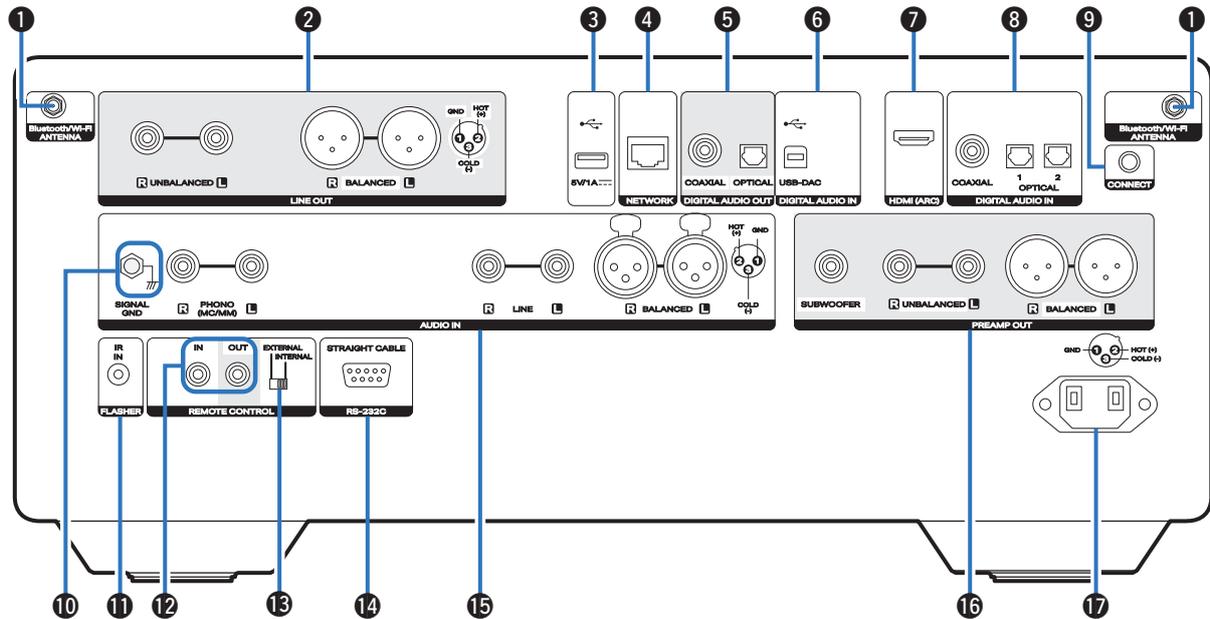
ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)から音が出なくなります。

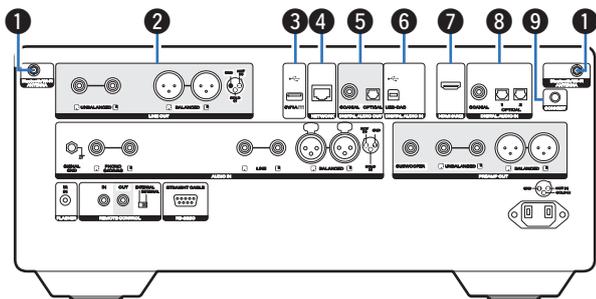
ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

リアパネル



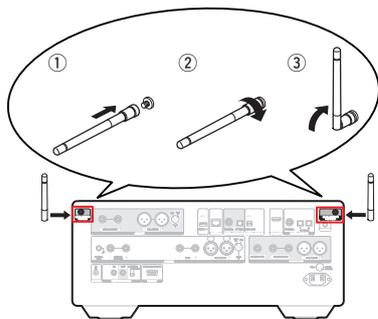
詳しくは、次のページをご覧ください。



① Bluetooth/無線 LAN 用アンテナ端子

Bluetooth でお手持ちの機器と接続する場合、または無線 LAN でネットワークに接続する場合は、この端子に付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを接続してご使用ください。(P.37 ページ)

- ① Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルのアンテナ端子と水平に合わせる。
- ② アンテナを右に回してしっかり締める。
- ③ 最も受信状態が良い向きにアンテナを回転させる。



② アナログ音声出力端子(LINE OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器を接続します。(P.23 ページ)

③ USB 端子

USB ストレージ(USB メモリーなど)を接続します。(P.35 ページ)

④ ネットワーク端子(NETWORK)

有線 LAN でネットワークに接続する際に LAN ケーブルを接続します。(P.36 ページ)

⑤ デジタル音声出力端子(DIGITAL AUDIO OUT)

デジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続します。(P.32 ページ)

⑥ デジタル音声入力端子(USB-DAC)

・ パソコンまたは Mac を接続します。(P.34 ページ)

⑦ HDMI 端子(HDMI (ARC))

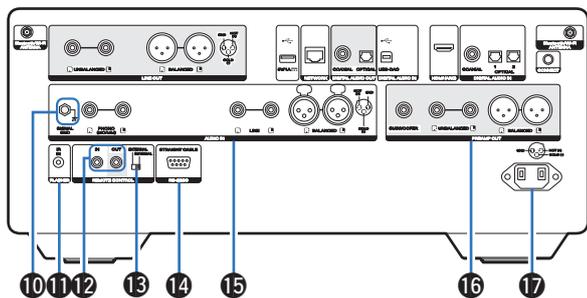
ARC 機能対応のテレビを接続します。(P.28 ページ)

⑧ デジタル音声入力端子(COAXIAL/OPTICAL)

- ・ 光デジタルまたは同軸デジタル音声出力端子付きのテレビを接続します。(P.30 ページ)
- ・ デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。(P.33 ページ)

⑨ CONNECT ボタン

無線 LAN のセットアップに使用します。(P.110 ページ)



10 アース端子(SIGNAL GND)

レコードプレーヤーのアース線を接続します。(P.26 ページ)

11 FLASHER IR IN 端子

コントロールボックスなどを接続します。(P.38 ページ)

12 リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)

リモートコントロール機能に対応している Marantz 製オーディオ機器を接続します。(P.39 ページ)

13 EXTERNAL/INTERNAL スイッチ

Marantz 製オーディオ機器とリモート接続してスイッチを“INTERNAL”に切り替えると、本機がリモコン信号を受信し、接続した機器は本機からのリモコン信号を受けて動作します。(P.39 ページ)

14 RS-232C 端子

RS-232C シリアル端子付きのホームオートメーションコントローラー機器を接続します。本機のシリアルコントロールについての詳細は、ホームオートメーションコントローラー機器の取扱説明書をご覧ください。

あらかじめ次の確認をしてください。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② 外部のコントロール機器で、本機の電源を切る。
- ③ 本機がスタンバイ状態になる。

15 アナログ音声入力端子(AUDIO IN)

アナログ音声出力端子付きの機器を接続します。(P.26 ページ)

16 プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)

パワーアンプやサブウーハーを接続します。

- 「アンプを接続する」(P.23 ページ)
- 「サブウーハーを接続する」(P.25 ページ)

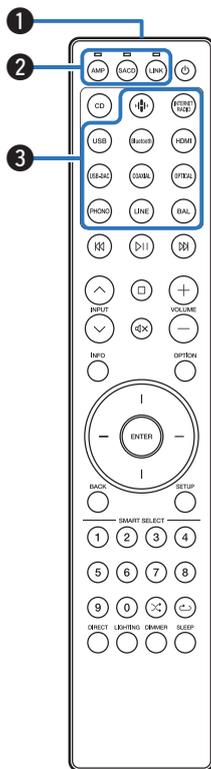


- サブウーハーを接続する場合、お手持ちのサブウーハーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

17 AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(P.41 ページ)

リモコン



付属のリモコンは本機だけでなく、Marantz 製のアンプおよび SACD プレーヤーを操作することができます。

- 「アンプの操作」(P.20 ページ)
- 「SACD プレーヤーの操作」(P.21 ページ)

■ 本機の操作

本機を操作するときは、LINK を押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えてください。

① リモコン信号送信窓

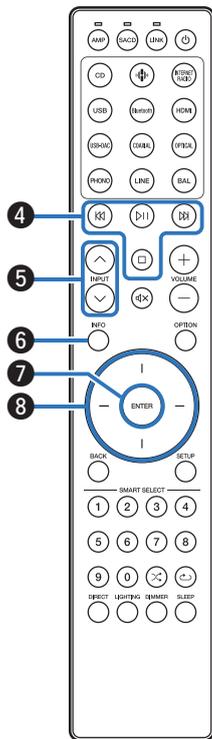
リモコンの信号を送信します。(P.9 ページ)

② リモコン操作モードボタン/表示(AMP/SACD/LINK)

- リモコンの操作モード(AMP/SACD/LINK)を切り替えます。
- 操作している機器に応じてリモコン操作モード表示が点灯します。

③ 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。(P.44 ページ)



④ システムボタン

再生に関する操作をします。

- プレイ/ポーズボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、一時停止します。一時停止または停止中に押すと、再生を再開します。

- スキップボタン(⏭)

再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。

- スキップボタン(KK)

再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。

- ストップボタン(⏹)

再生中にボタンを押すと、停止します。



- 入力ソースやオンラインサービスによっては、操作できません。

⑤ 入力ソース切り替えボタン(INPUT へ)

入力ソースを切り替えます。(P.44 ページ)

⑥ インフォメーションボタン(INFO)

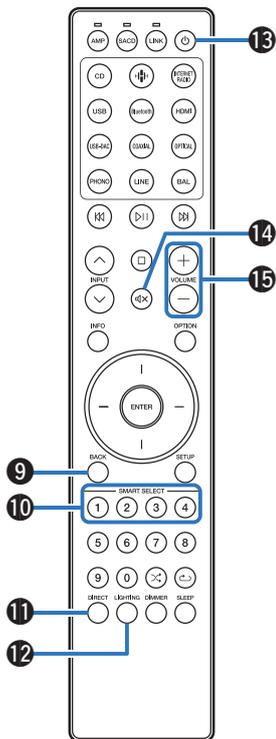
ディスプレイに表示する、再生中のコンテンツ情報を切り替えます。

⑦ エンターボタン(ENTER)

選択した内容を確定します。

⑧ カーソルボタン

項目を選択します。



9 バックボタン(BACK)

ひとつ前の項目に戻ります。

10 スマートセレクトボタン(SMART SELECT 1~4)

入力ソース、音量、ソースダイレクトおよびオプションメニューの音質などの複数の設定をそれぞれのボタンに登録し、呼び出すことができます。(P.94 ページ)

11 ダイレクトボタン(DIRECT)

ソースダイレクトモードをオン/オフします。(P.91 ページ)

12 ライティングボタン(LIGHTING)

イルミネーションおよびディスプレイを点灯/消灯します。(P.92 ページ)

13 電源ボタン(⏻)

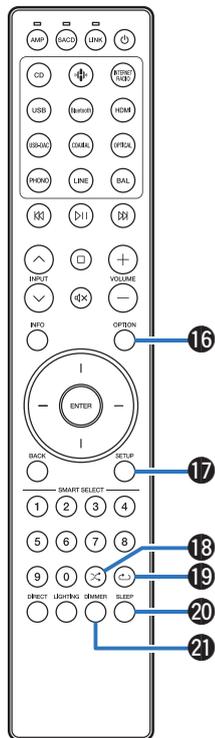
電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.43 ページ)

14 ミュートボタン(🔇)

消音します。(P.45 ページ)

15 音量調節ボタン(VOLUME +/-)

音量を調節します。(P.44 ページ)



16 オプションボタン(OPTION)

- オプションメニューをディスプレイに表示します。



- 入力ソースによっては、オプションメニューを表示しません。

17 セットアップボタン(SETUP)

- ディスプレイに設定メニューを表示します。(169 97 ページ)

18 ランダムボタン(☒)

- ランダム再生をします。

19 リピートボタン(↻)

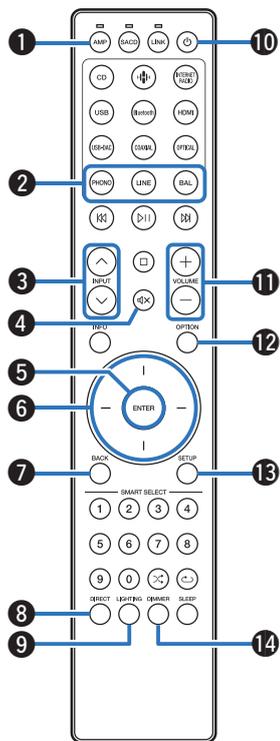
- リピート再生をします。

20 スリープタイマーボタン(SLEEP)

- スリープタイマーを設定します。(169 93 ページ)

21 ディマーボタン(DIMMER)

- ディスプレイの明るさを調節します。(169 92 ページ)



■ アンプの操作

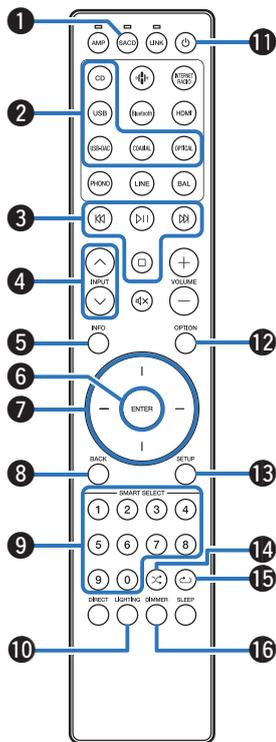
Marantz 製アンプを操作できます。

アンプを操作するときは、AMP ボタンを押してリモコンをアンプ操作モードに切り替えてください。

- ① リモコン操作モードボタン(AMP)
- ② 入力ソース選択ボタン(PHONO/LINE/BAL)
- ③ 入力ソース切り替えボタン(INPUT へ▽)
- ④ ミュートボタン(🔇)
- ⑤ エンターボタン(ENTER)
- ⑥ カーソルボタン
- ⑦ バックボタン(BACK)
- ⑧ ダイレクトボタン(DIRECT)
- ⑨ ライティングボタン(LIGHTING)
- ⑩ 電源ボタン(🔌)
- ⑪ 音量調節ボタン(VOLUME +/−)
- ⑫ オプションボタン(OPTION)
- ⑬ セットアップボタン(SETUP)
- ⑭ ディマーボタン(DIMMER)



- 一部操作ができない製品もあります。



■ SACD プレーヤーの操作

Marantz 製 SACD プレーヤーを操作できます。

SACD プレーヤーを操作するときは、SACD ボタンを押してリモコンを SACD プレーヤー操作モードに切り替えてください。

- ① リモコン操作モードボタン(SACD)
- ② 入力ソース選択ボタン
- ③ システムボタン
- ④ 入力ソース切り替えボタン(INPUT へ▽)
- ⑤ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑥ エンターボタン(ENTER)
- ⑦ カーソルボタン
- ⑧ バックボタン(BACK)
- ⑨ 数字ボタン(0~9)
- ⑩ ライティングボタン(LIGHTING)
- ⑪ 電源ボタン(⏻)
- ⑫ オプションボタン(OPTION)
- ⑬ セットアップボタン(SETUP)
- ⑭ ランダムボタン(⌘)
- ⑮ リピートボタン(⌂)
- ⑯ ディマーボタン(DIMMER)



- 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

目次

アンプを接続する	23
サブウーハーを接続する	25
再生機器を接続する	26
テレビを接続する	28
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	32
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	33
パソコンまたは Mac と接続する	34
USB 端子に USB メモリーを接続する	35
ホームネットワーク(LAN)に接続する	36
外部のコントロール機器を接続する	38
電源コードを接続する	41

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

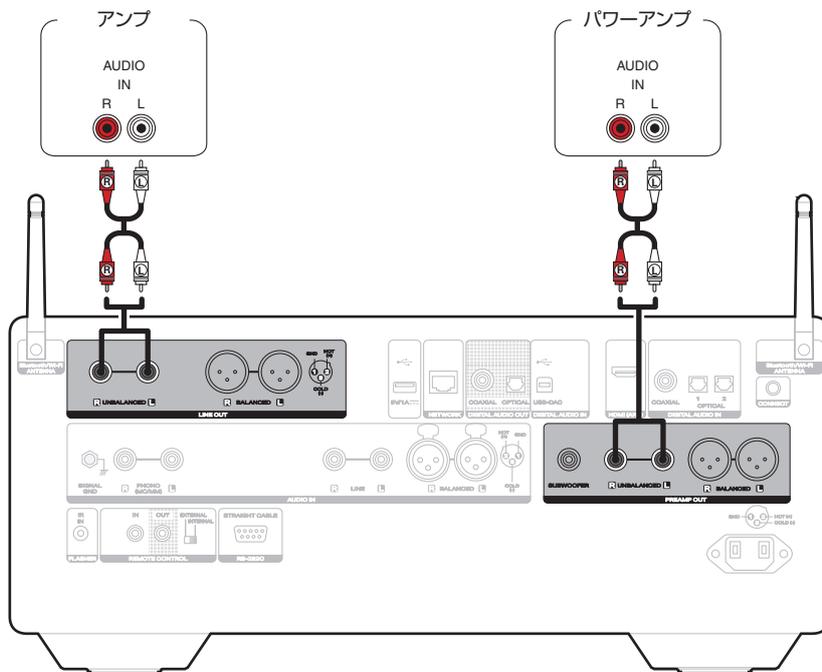
接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

オーディオケーブル (付属)	
バランスケーブル (市販)	
サブウーハーケーブル (市販)	
リモート接続ケーブル(付属)	
HDMI ケーブル (市販)	
光デジタルケーブル (市販)	
同軸デジタルケーブル (市販)	
USB ケーブル (市販)	
LAN ケーブル (市販)	
モノラルミニプラグケーブル (市販)	

アンプを接続する

アンプを本機のアナログ音声出力端子(LINE OUT)に接続してください。パワーアンプを本機のプリアンプ出力端子(PREAMP OUT)に接続すると、本機をプリアンプとして使用できます。

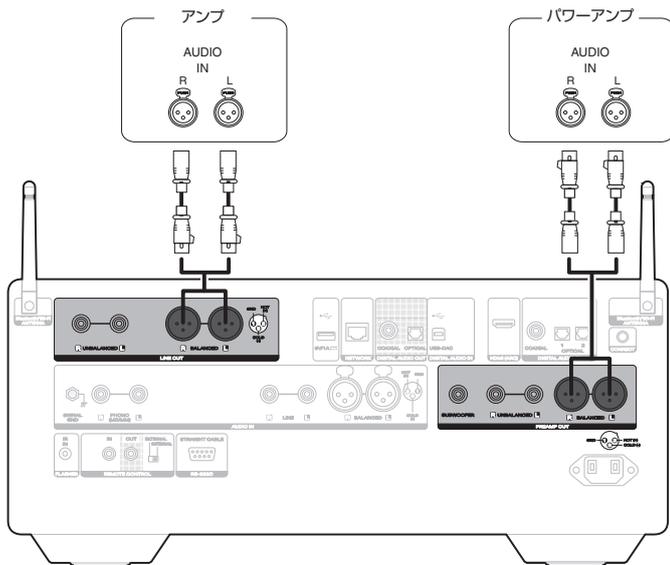


■ バランス端子について

本機には、アンバランス端子の他にバランス端子を搭載しています。バランス端子は3ピン構造のため、音声信号を平衡信号で伝送でき、外来ノイズの影響を少なくすることができます。また、着脱ロック機構のためコネクタ部のぐらつきが少なく、信頼性が高いといった特長があります。



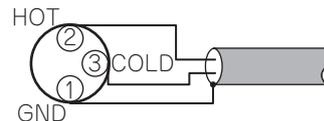
- バランス接続は全段バランス構成です。



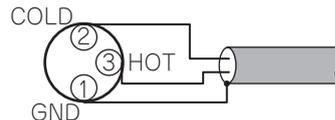
■ バランス端子の位相について

XLR 端子の接続方法には2通りのタイプがあります。本機では、ヨーロッパ方式を採用しています。

- ヨーロッパ方式(② PIN=HOT / ③ PIN=COLD)



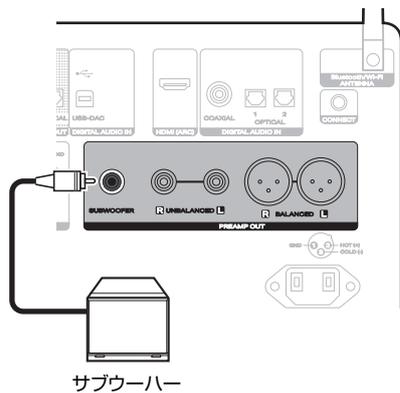
- USA 方式(② PIN=COLD / ③ PIN=HOT)



本機と USA 方式を採用している製品をバランスケーブルで接続すると、信号が逆位相になります。信号の位相を正しくするには、片側の XLR 端子の ②PIN と ③PIN を逆につなぎ換えてください。

サブウーハーを接続する

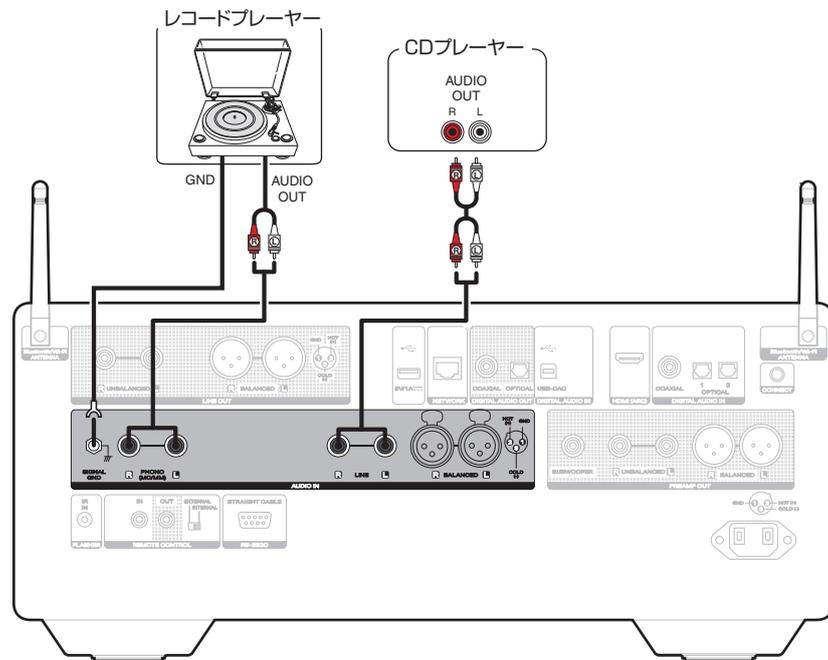
サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーを接続します。



再生機器を接続する

本機には、レコードプレーヤーおよび CD プレーヤーを接続できます。接続するレコードプレーヤーのカートリッジの種類に合わせ、設定メニューの“フォノイコライザー”で本機のフォノイコライザーを設定してください。(P.101 ページ)

本機の入カソースを“Phono”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音が発生することがあります。



ご注意

- 本機のアース端子 (SIGNAL GND) は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できません。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。



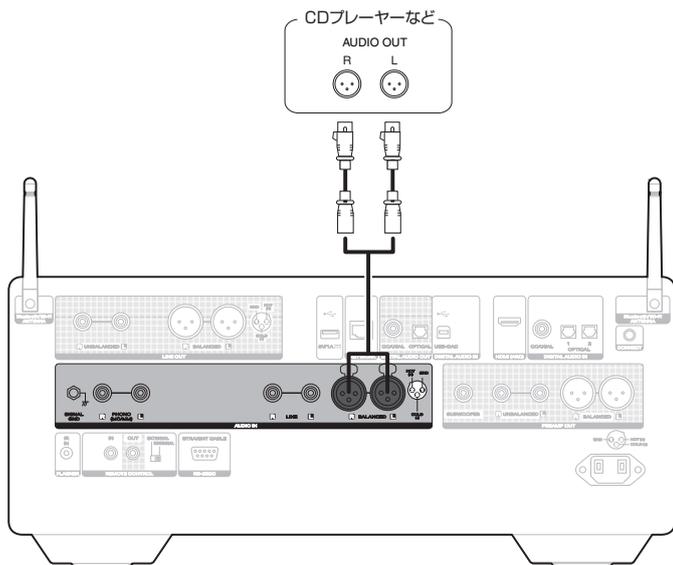
- PHONO 入力端子には、ショートピンプラグが装着されています。レコードプレーヤーを接続する際は外してください。外したショートピンプラグは大切に保管してください。

■ バランス端子について

本機には、アンバランス端子の他にバランス端子を搭載しています。バランス端子は3ピン構造のため、音声信号を平衡信号で伝送でき、外来ノイズの影響を少なくすることができます。また、着脱ロック機構のためコネクタ部のぐらつきが少なく、信頼性が高いといった特長があります。



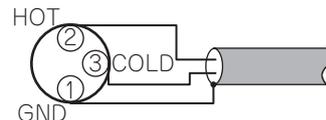
- バランス接続は全段バランス構成です。



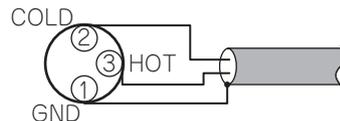
■ バランス端子の位相について

XLR端子の接続方法には2通りのタイプがあります。本機では、ヨーロッパ方式を採用しています。

- ヨーロッパ方式(② PIN=HOT/ ③ PIN=COLD)



- USA方式(② PIN=COLD / ③ PIN=HOT)



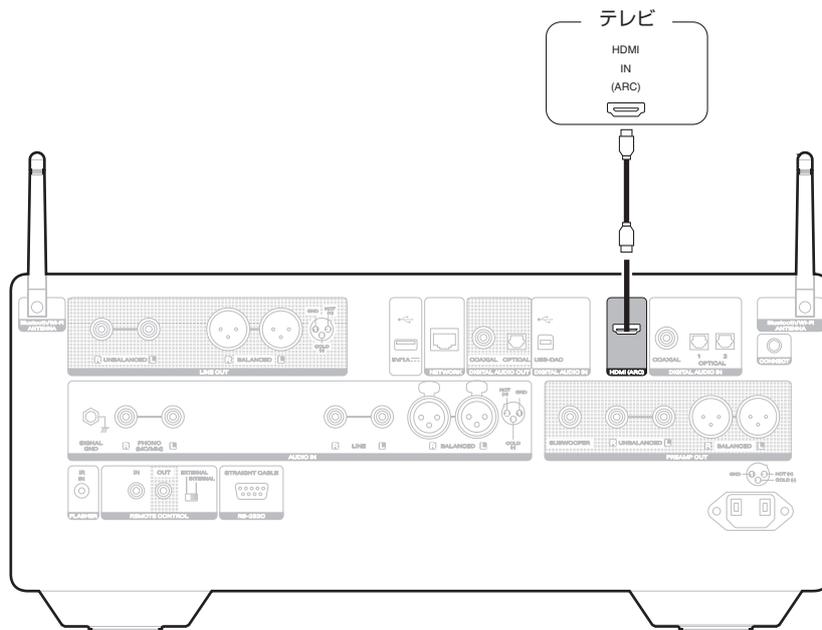
本機とUSA方式を採用している製品をバランスケーブルで接続すると、信号が逆位相になります。信号の位相を正しくするには、片側のXLR端子の②PINと③PINを逆につなぎ換えてください。

テレビを接続する

本機にテレビを接続し、テレビの音声を高音質でお楽しみいただくことができます。

テレビの HDMI ARC 端子に接続する

お手持ちのテレビの HDMI 端子が ARC 対応の場合、HDMI 接続してください。





- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の HDMI (ARC) 端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応したテレビの HDMI 入力端子に接続してください。
- ARC 機能に非対応のテレビと接続する場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(P.30 ページ)
- テレビと HDMI ARC 接続している場合、音量調節を快適におこなうために本機のプリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) にアンプを接続することをおすすめします。(P.23 ページ)

ご注意

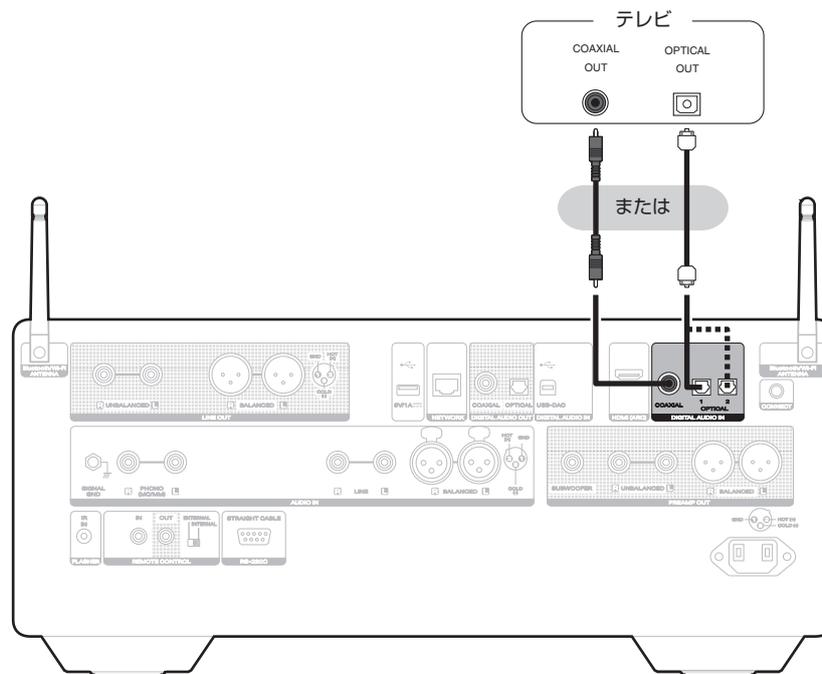
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを “PCM 2ch” に設定してください。
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.139 ページ)をご覧ください。

テレビの光デジタルまたは同軸デジタル音声出力端子に接続する

お手持ちのテレビの HDMI 端子が ARC 非対応の場合または HDMI 端子が無い場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続してください。





- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

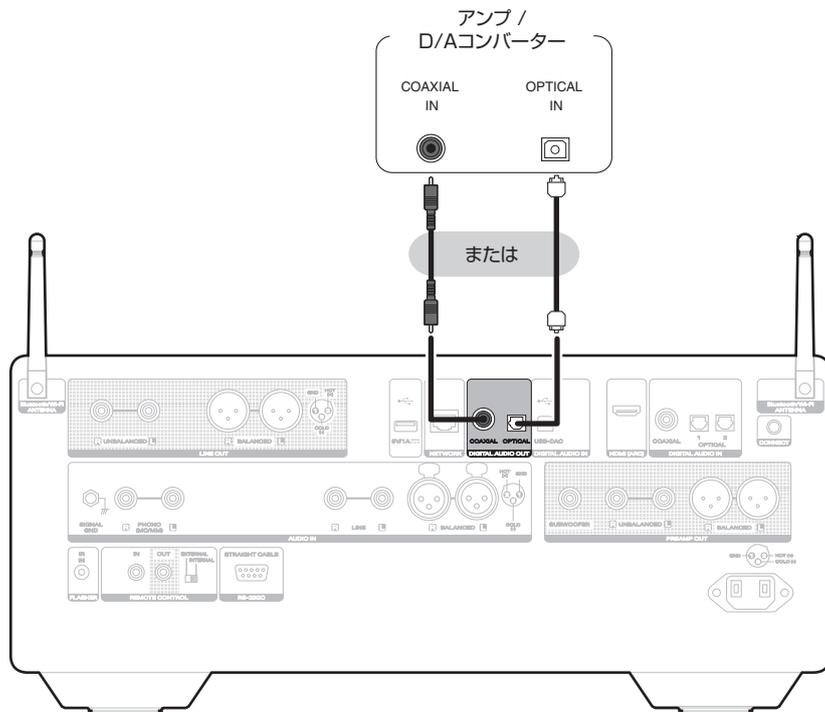
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.139 ページ)をご覧ください。

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。

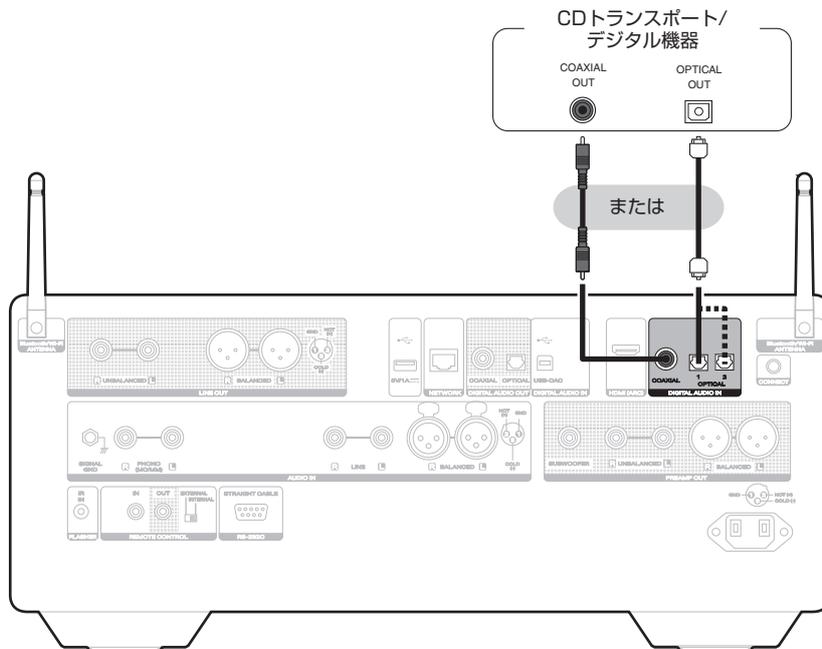


ご注意

- 本機の USB-DAC 機能を使用して、DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。
- USB メモリーやネットワーク経由で、DSD ファイルおよびサンプリング周波数が 352.8/384 kHz のファイルを再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。
- 設定メニューの“デジタル出力”でデジタル音声出力のオン/オフを設定できます。(P.100 ページ)
- アナログ音声入力を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力すると、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生できます。(☞ 71 ページ)



■ 再生できる音声信号の仕様

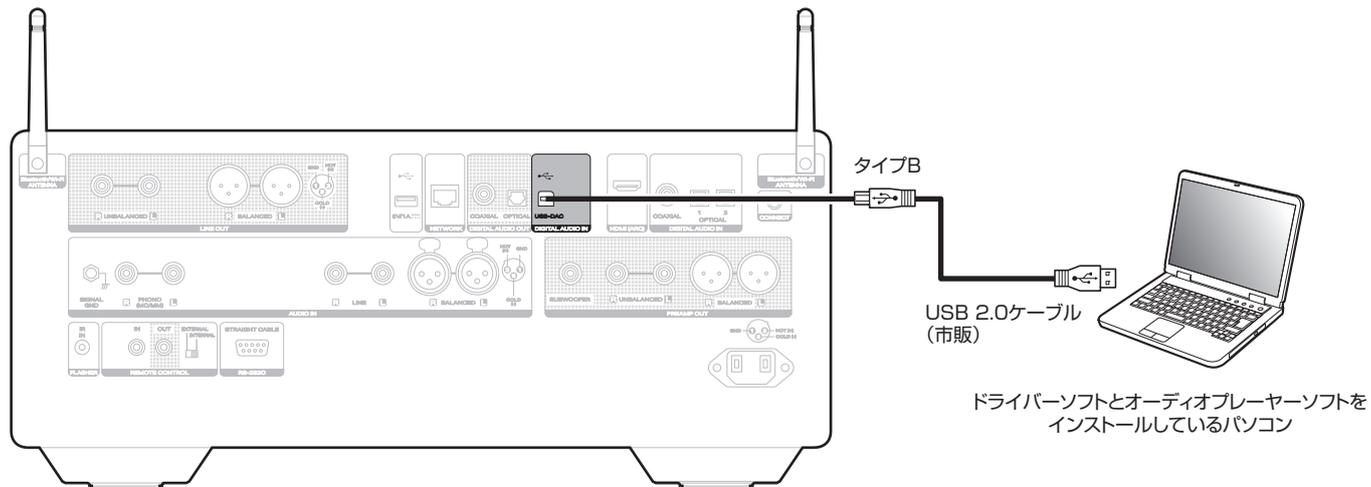
「デジタル入力」(☞ 139 ページ)をご覧ください。

パソコンまたはMacと接続する

本機のリアパネルのUSB 端子(USB-DAC)とパソコンをUSB ケーブル(市販)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます。(☞73 ページ)

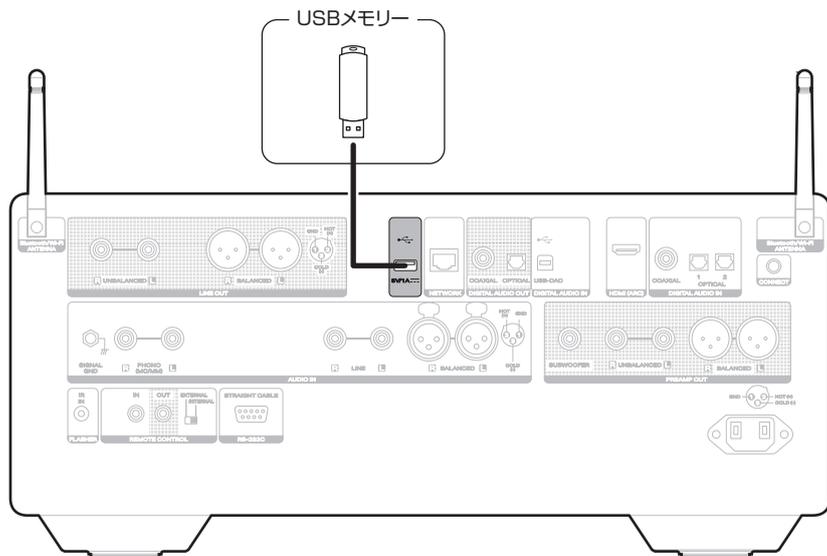
ご注意

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(☞73 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの LINK 10n のページからダウンロードしてください。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。



USB 端子に USB メモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーを再生する」(P.51 ページ)をご覧ください。



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、USB-DAC 端子(タイプ B)と接続してください。
- USB メモリーを接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

ホームネットワーク(LAN)に接続する

本機は有線 LAN または無線 LAN を使用して、ネットワークに接続できます。

本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

- インターネットラジオやメディアサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- ストリーミング音楽サービスの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- HEOS 無線マルチルームサウンドシステムでの動作
- ファームウェアのアップデート

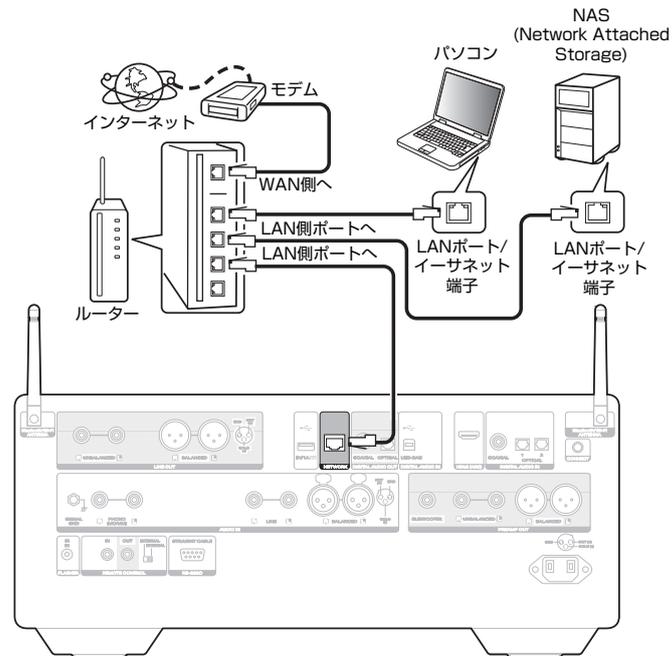
インターネットの接続については、ISP(Internet Service Provider)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。



- 本機のディスプレイに  が表示されている場合、本機はネットワークに接続していません。

有線 LAN

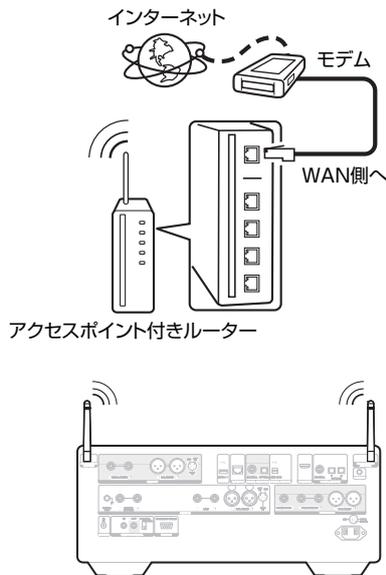
有線 LAN で接続する場合は、図のようにルーターと本機を LAN ケーブルで接続してください。



無線 LAN

無線 LAN でネットワークに接続する場合は、Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルに接続し、アンテナを立ててご使用ください。

無線 LAN ルーターに接続するには、HEOS アプリをお手持ちのモバイル端末にダウンロードして、本機のセットアップをおこなってください。(P.61 ページ)



- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルーターをおすすめします。
 - DHCP サーバー内蔵
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
 - 100BASE-TX スイッチ内蔵
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。(CAT-5 以上を推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。

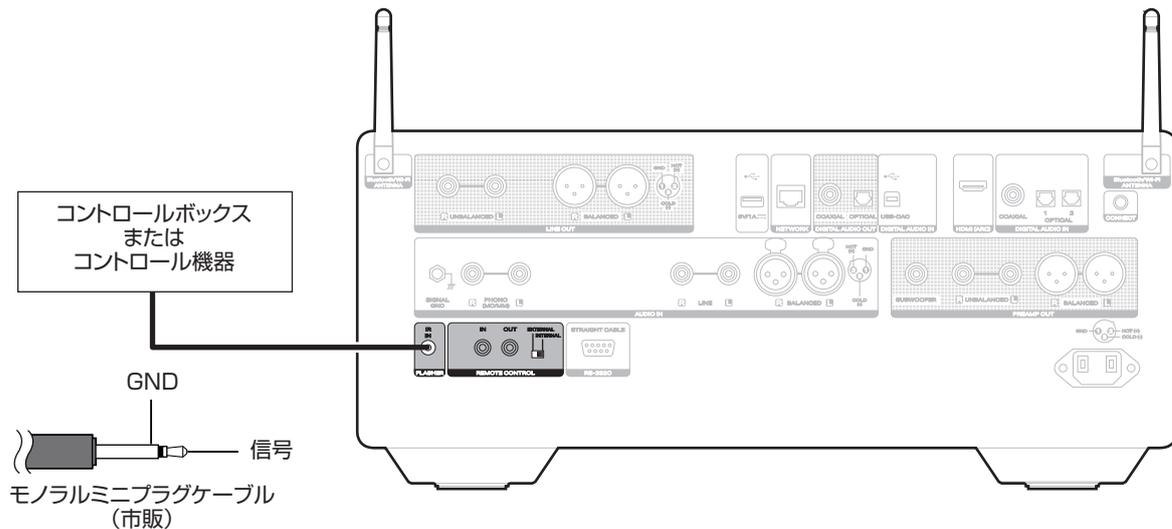
ご注意

- ISP 業者によって使用できるルーターの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルーターが必要です。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルーター等に LAN 接続してください。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- 各種オンラインサービスは、予告なく終了する場合があります。

外部のコントロール機器を接続する

FLASHER IN 端子

コントロールボックスなどを接続することにより、本機をコントロールできます。



- FLASHER IN 端子を使用する場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。

リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)

本機を MODEL 10 および SACD 10 と組み合わせて接続すると、次の機能をご使用いただけます。

- HEOS アプリを使用して本機経由で MODEL 10 をコントロールする機能
- テレビのリモコン(HDMI コントロール機能)を使用して、本機経由で MODEL 10 をコントロールする機能
- 本機、MODEL 10 および SACD 10 の電源連動機能



- 本機と Marantz 製アンプを組み合わせて電源連動機能を使うこともできます。
- 一部操作ができない Marantz 製アンプもあります。
- 本機に接続する Marantz 製アンプとテレビによっては、テレビのリモコン(HDMI コントロール機能)での音量調節がはたらかない場合があります。
- 本機からリモコンコード(AMP 1~3)の設定機能がある Marantz 製アンプをコントロールする場合、アンプのリモコンコードを“AMP 1”に設定してください。

次の「接続」と「設定」をおこなってください。

■ 接続

付属のリモート接続ケーブルで、本機のリモートコントロール出力端子(REMOTE CONTROL OUT)と MODEL 10 または SACD 10 のリモートコントロール入力端子(REMOTE CONTROL IN)を接続します。

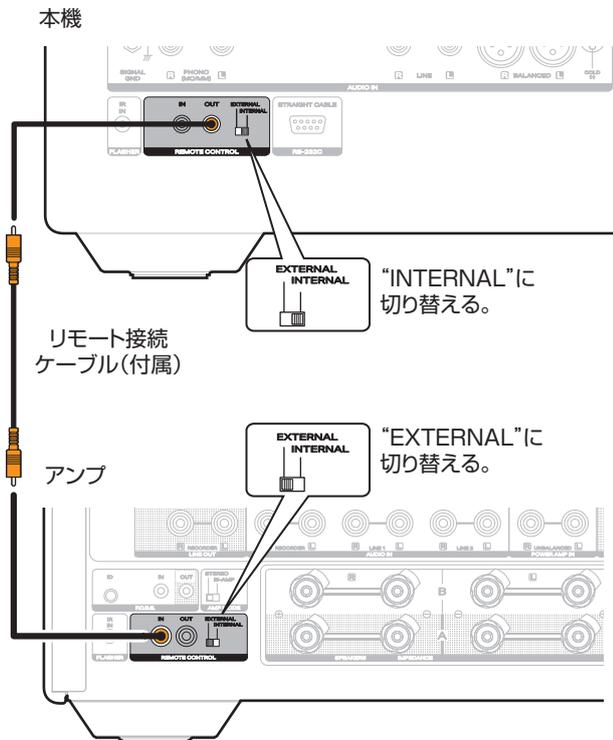
■ 設定

テレビの HDMI ARC 機能を使用して音量を調節するには、次の設定をおこなってください。

1. 本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替える。
 2. MODEL 10 または SACD 10 の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替える。
- MODEL 10 または SACD 10 はリモコン受光部の受信を停止します。
 - リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。



- MODEL 10 または SACD 10 を接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。

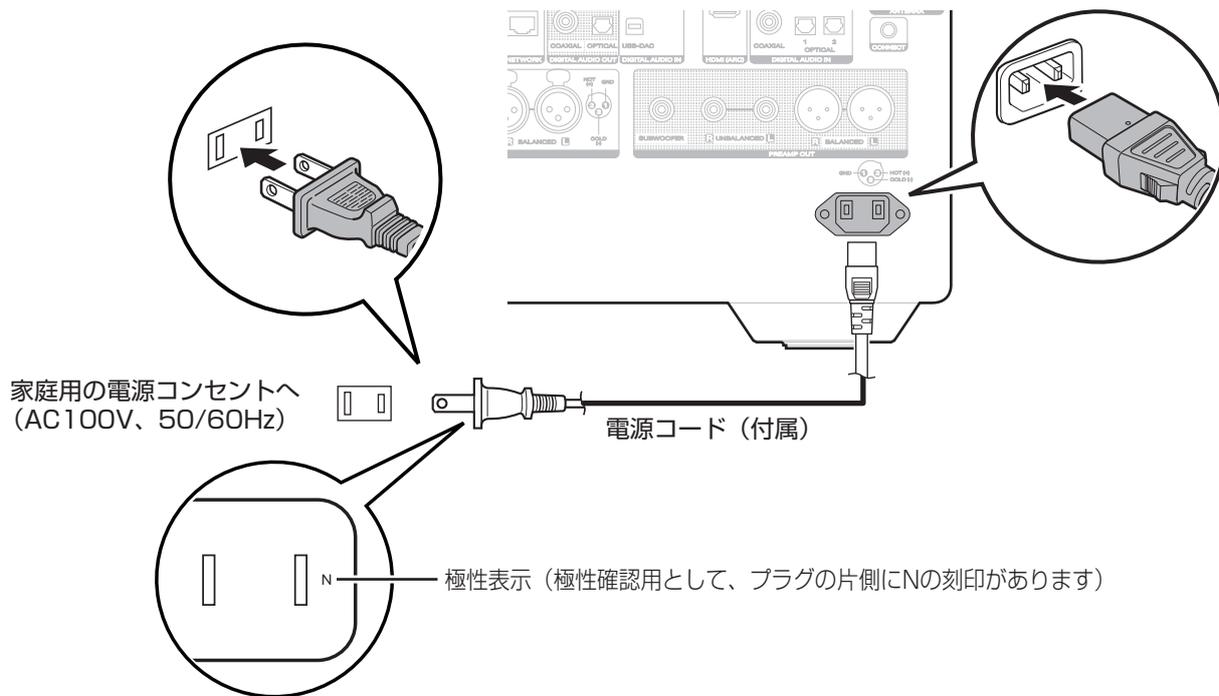


ご注意

- リアパネルに EXTERNAL/INTERNAL スイッチがない Marantz 製アンプを接続する場合は、次の設定をおこなってください。
 - 本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “EXTERNAL” に切り替える。
 - 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
 - リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンセンサー受信機能を “無効” に設定できるアンプを接続する場合は、以下の設定を行ってください。
 - 本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “INTERNAL” に切り替える。
 - アンプのリモコン信号受信機能を “無効” に設定する。
 - アンプはリモコン受光部の受信を停止します。
 - リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



- 付属の電源コードには、極性を表示しています。お好みの音質になるようにコンセントへ差し込んでください。

再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる	43
電源をスタンバイにする	43
入力ソースを選ぶ	44
音量を調節する	44
一時的に音を消す(ミュート)	45

ネットワークオーディオ/サービスを再生する

インターネットラジオを聴く	46
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	48
HEOS アプリをダウンロードする	61
AirPlay 機能	84
Spotify Connect 機能	87

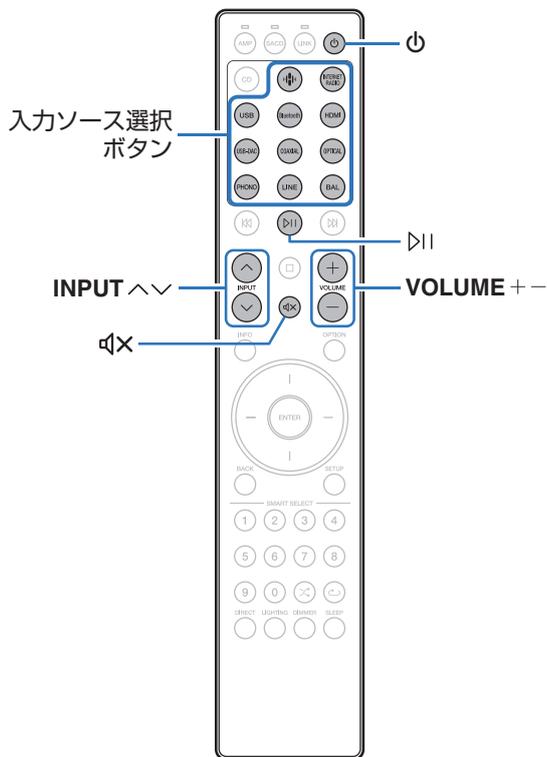
機器を再生する

USB メモリーを再生する	51
Bluetooth 機器の音楽を聴く	54
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	58
デジタル入力を再生する	71
アナログ入力を再生する	83

便利な機能

HEOS お気に入り再生	89
HEOS お気に入りに追加する	89
HEOS お気に入りを削除する	90
音質および音量バランスを調節する	90
ソースダイレクトモードで再生する	91
ディスプレイの明るさを切り替える	92
イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える	92
スリープタイマーを設定する	93
音量を常に表示する(“プリアンプアウト”設定が“オン”の場合)	93
スマートセレクト機能	94

基本操作



電源を入れる

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。
- 再生ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

1 電源ボタンを押す。
スタンバイ状態になります。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態にすることができます。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

- 1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。
ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。



- INPUT ∇ ボタンを押しても、入力ソースを選択できます。
-  (HEOS Music) ボタンを押すと、前回ネットワーク再生した入力ソースに切り替わります。前回ネットワーク再生した入力ソースにアクセスできない場合、“HEOS”をディスプレイに表示します。
- 本機の電源がオンのときに HEOS アプリから再生操作をおこなうと、再生中の入力ソースに自動的に切り替わります。
- OPTICAL を押すたびに Optical 1 および Optical 2 が切り替わりません。
- 本体の INPUT を回しても、入力ソースを選択できます。

音量を調節する

プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)およびヘッドホン端子から出力される音声信号の音量を調節します。

- 1 VOLUME $+$ を押して音量を調節する。
ディスプレイに音量を表示します。



- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。
- 音量レベルの表示方法を変更できます。(100 ページ)
- “プリアンプアウト”が“オン”に設定されている場合、プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)から出力される音声信号の音量を調節できます。(99 ページ)

一時的に音を消す(ミュート)

プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)およびヘッドホン端子から出力される音声信号を消音にします。

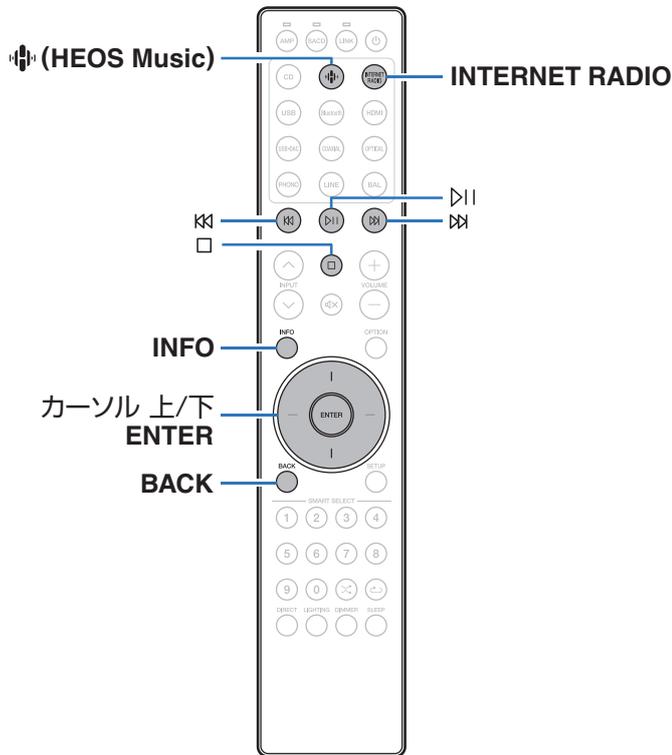
1 を押す。

ディスプレイに“ミュート”を表示します。



- ミュートを解除するときは、音量を調節するか、もう一度  を押してください。
- “プリアンプアウト”が“オン”に設定されている場合は、プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)から出力される音声信号を消音にできます。
( 99 ページ)

インターネットラジオを聴く



- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、TuneIn ラジオサービスのデータベースサービスを利用しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「インターネットラジオの再生について」(P.143 ページ)をご覧ください。
 - WMA
 - MP3
 - MPEG-4 AAC

インターネットラジオを聴く

1 INTERNET RADIO を押す。

-  (HEOS Music) を押しても操作ができます。カーソル上/下を押して“インターネットラジオ”を選び、ENTER を押してください。

2 再生したい放送局を選ぶ。

操作ボタン	機能
▶ *	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭ *	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
BACK	1 つ上の階層に移動
INFO	音声フォーマットおよび音質情報の表示/非表示切り替え

* ポッドキャストを再生中に有効です。

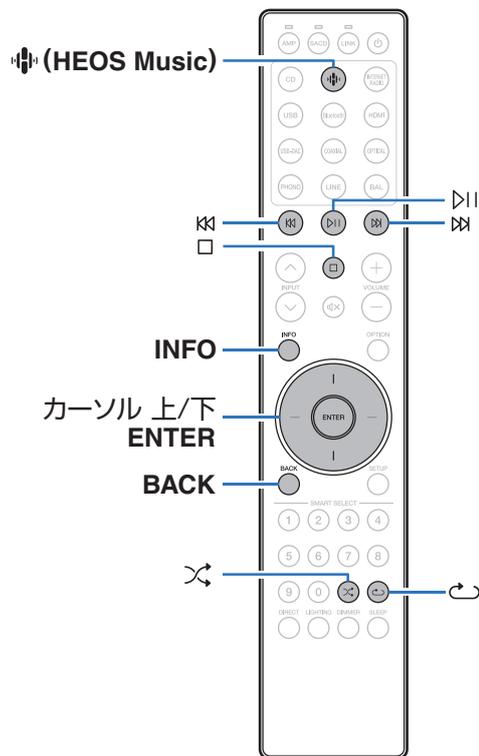


- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“□”に置き換えて表示します。

ご注意

- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンや DLNA 対応の NAS (Network Attached Storage) に保存されている音楽ファイルやプレイリスト (m3u, wpl) を再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について」(P.141 ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- DSD

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

DLNA ファイルサーバーに保存されている音楽ファイルやプレイリストを再生する場合におこないます。

1 (HEOS Music)を押す。

再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。

2 カーソル 上/下を押して“ミュージックサーバー”を選び、ENTER を押す。

3 ネットワーク上のパソコンまたはNAS (Network Attached Storage)名を選ぶ。

4 パソコンまたはNAS内の音楽データから、再生する音楽を選ぶ。



- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生している曲の直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

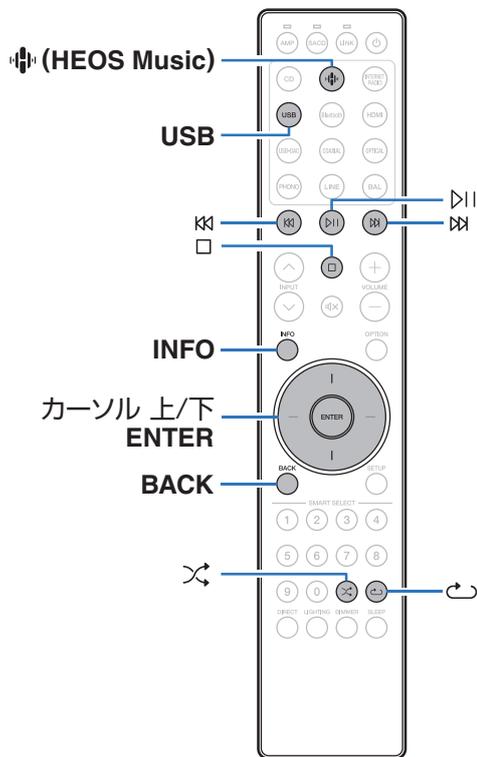
5 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。再生をはじめます。

操作ボタン	機能
⏮	再生/一時停止
⏸	停止
⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
BACK	1 つ上の階層に移動
🔄	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
🎲	ランダム再生
INFO	音声フォーマットおよび音質情報の表示/非表示切り替え

ご注意

- 無線 LAN を経由して接続されたパソコンまたは NAS で音楽ファイルを再生すると、無線 LAN 環境によっては音声途切れることがあります。このような場合は、有線 LAN で接続してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、頭文字での検索が正しく動作せず、曲の表示順がアルファベット順にならない場合があります。

USBメモリーを再生する



- USBメモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マストレージクラスに対応しているUSBメモリーのみ再生できます。
- USBメモリーは、“FAT32”または“NTFS”フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「USBメモリーの再生について」(P.138ページ)をご覧ください。
 - WMA
 - MP3
 - WAV
 - MPEG-4 AAC
 - FLAC
 - Apple Lossless
 - DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 USB メモリーを USB 端子に挿入する。
- 2 USB を押して入力ソースを“USB ミュージック”に切り替える。
 -  (HEOS Music) を押しても操作ができます。カーソル上/下を押して“USB ミュージック”を選び、ENTER を押してください。
- 3 本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

- 4 USB メモリー内の音楽データから、再生したい音楽を選ぶ。



- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生している曲の直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

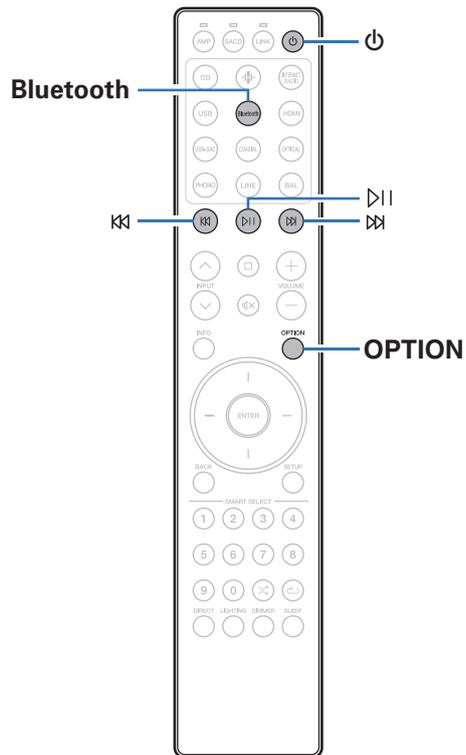
- 5 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
BACK	1 つ上の階層に移動
↺	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
✖	ランダム再生
INFO	音声フォーマットおよび音質情報の表示/非表示切り替え

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機に USB メモリーを接続すると、本機は USB メモリーのすべてのファイルを読み込みます。USB メモリーにフォルダ数やファイル数が多い場合、読み込みに時間がかかることがあります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。
約 30m の範囲内で通信できます。

ご注意

- Bluetooth 機器の音楽を再生するには、Bluetooth 機器が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 再生の準備をする。

- ① 付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを、リアパネルの Bluetooth/無線 LAN 用アンテナ端子に接続する。(P.13 ページ)
- ②  を押して、本機の電源を入れる。

2 Bluetooth を押す。

本機で Bluetooth 再生をはじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになります。

3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。

4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離 (1m 程度) でおこなってください。

5 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。
- 次回以降、リモコンの Bluetooth を押した場合、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。

操作ボタン	機能
	再生/一時停止
	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ

2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

- 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 2 リモコンの Bluetooth を 3 秒以上押す。
本機はペアリングモードになります。
- 3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。



- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- Bluetooth の再生画面が表示されているときに OPTION を押し、表示されたオプションメニューから“ペアリングモード”を選択しても、ペアリングモードに入ることができます。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、Bluetooth 機器で設定している音量と本機のプリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) から出力する音声信号の音量が連動します。

Bluetooth 機器から本機に再接続する

ペアリングが済んでいれば、本体を操作せずに接続することができます。

再生する Bluetooth 機器を切り替える場合にもこの操作をおこなってください。

- 1 現在接続している Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 設定をオフにして接続を切断する。
- 2 接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにする。
- 3 お使いの Bluetooth 機器の Bluetooth 機器リストから本機を選択する。
- 4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

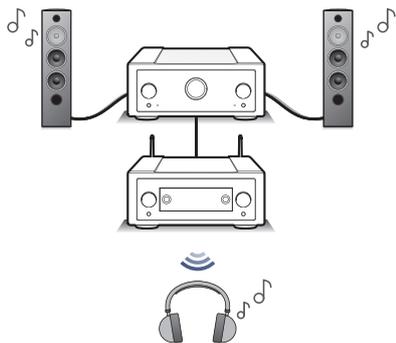


- 本機の電源および Bluetooth 機能がオンのときに Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。
- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から Bluetooth 接続および再生操作をおこなうと、自動的に本機の電源はオンになります。(P.108 ページ)

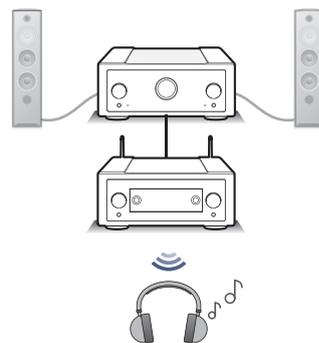
Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く

本機で再生している音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くことができます。

本機の Bluetooth 送信機能は、ご使用の環境に合わせてスピーカーと Bluetooth ヘッドホンから音声を同時に出力したり、Bluetooth ヘッドホンからのみ音声を出力したりすることができます。



出力モード:ヘッドホン + スピーカー



出力モード:ヘッドホン

ご注意

- スピーカーを繋いだアンプを本機に接続した状態で、Bluetooth ヘッドホンからのみ音声を出力したい場合は、アンプを本機のプリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) に接続してください。

Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く

- 1 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で、“ヘッドホン”を“オン”に設定する。(P.107ページ)
- 2 “出力モード”を選び、音声の出力方法を設定する。

ヘッドホン + スピーカー
(お買い上げ時の設定):

音声は、Bluetooth ヘッドホン、アナログ音声出力端子(LINE OUT)、プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)に出力されます。スピーカー付きのアンプを本機のアナログ音声出力端子(LINE OUT)またはプリアンプ出力端子(PREAMP OUT)に接続してください。

Bluetooth ヘッドホンを使用してもスピーカーから音声が出力されますので、ご家族と一緒に映画などを楽しむことができます。

ヘッドホン:

音声は Bluetooth ヘッドホンに出力されます。

夜間など一人で音楽や映画を視聴したいときにご使用ください。



- “ヘッドホン”に設定されている場合でも、アナログ音声出力端子(LINE OUT)からは音声が出力されます。

- 3 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンをペアリングモードにする。
- 4 “デバイス”を選び、デバイスリストから接続したい Bluetooth ヘッドホンの機器名を選ぶ。
- 5 接続が完了したら、Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節する。



- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth ヘッドホンの音量は、本機では調節できません。Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節してください。
- Bluetooth ヘッドホンに送信する音声は遅延する場合があります。
- AirPlay および Roon Ready の音声は送信できません。
- Bluetooth 入力ソースを選択している場合は、Bluetooth ヘッドホンを接続できません。
また、Bluetooth 入力ソースを選択すると、本機と Bluetooth ヘッドホンの接続が切断されます。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。

注意:

音量調整機能がない Bluetooth ヘッドホンを使用する場合

- 聴覚障害の原因となる場合がありますので、音量調整機能がない Bluetooth ヘッドホンを接続しないでください。
- 本機を音量調整機能がない Bluetooth ヘッドホンに接続すると、突然大きな音が出力される場合があります。
- Bluetooth ヘッドホンの音量は本機では調節できません。

Bluetooth ヘッドホンに再接続する

一度ペアリングが済んでいれば、次のいずれかの操作をすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに再接続できます。

- Bluetooth ヘッドホンの再接続機能を使用して、本機に再接続する。
- “出力モード”が“ヘッドホン + スピーカー”に設定されている場合、本機は電源をオンにすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに自動的に接続する。
- 設定メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から接続したい機器名を選択する。(☞ 107 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを切断する

次のいずれかの操作をすると、Bluetooth ヘッドホンとの接続を切断できます。

- Bluetooth ヘッドホンの電源をオフにする。
- 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で“ヘッドホン”を“オフ”に設定する。(☞ 107 ページ)

HEOS アプリをダウンロードする

HEOS アプリから多くのオンライン音楽ストリーミングサービスを使用することができます。無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

App ストア、Google Play ストアまたは Amazon アプリストアで“HEOS”を検索して、iOS 用または Android 用の HEOS アプリをダウンロードしてください。



- HEOS アプリの仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

HEOS アプリに初めて HEOS 機能搭載 機器をセットアップする

本機を設置して HEOS アプリをダウンロードしたら、ホームネットワークに接続するための設定をおこないます。本機をホームネットワークに接続するために、次の手順をおこなってください。



- 本機を無線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルを接続しないでください。本機を有線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブル(市販)を使用して、ルーターやハブに接続してください。

1 モバイル端末が無線 LAN(本機を接続するネットワーク)に接続されていることを確認してください。

iOS または Android 機器の“設定” - “Wi-Fi”で確認できます。



- モバイル端末の Bluetooth 設定をオンにしてください。
- 無線 LAN ネットワークがパスワードで保護されている場合は、パスワードを確認してください。

2 モバイル端末で HEOS アプリを起動する。



3 HEOS アプリが起動したら、画面上部の“今すぐセットアップ”をタップする。

4 画面の指示に従って、本機を無線 LAN ネットワークに追加する。

HEOS アプリに HEOS 機能搭載機器の登録を追加する

HEOS システムは、複数の HEOS 機能搭載機器間の音楽再生を自動的に同期できます。HEOS システムには、最大 32 台の HEOS 機能搭載機器を追加できます。また、最大 16 台の HEOS 機能搭載機器を 1 つのグループにすることで、1 台の HEOS 機能搭載機器のように機能させられます。

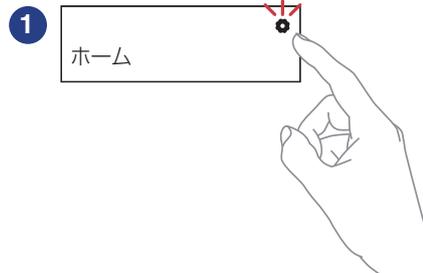
■ 有線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

LAN ケーブルを使用して、HEOS 機能搭載機器をホームネットワークに接続すると、HEOS アプリのルーム画面に、接続した HEOS 機能搭載機器が表示されます。有線 LAN の接続については、「ホームネットワーク (LAN) に接続する」(P.36 ページ)をご覧ください。

また、HEOS 機能搭載機器に任意の名前を割り当てると、どの部屋に設置した HEOS 機能搭載機器なのか分かりやすくなります。

■ 無線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

HEOS アプリの設定メニューから“デバイスの追加”を選び、画面の指示に従って操作してください。



HEOS アカウント

HEOS アカウントは、HEOS アプリの“ホーム”タブ - “設定”アイコン  をタップして登録してください。

HEOS アカウントを作成またはサインインすると、HEOS お気に入り機能を使用して、本機からお気に入りのストリーミングラジオ局をお気に入りリストに保存したり、リストから再生したりできます。

■ HEOS アカウントとは

HEOS アカウントは、1 つのユーザー名とパスワードですべての HEOS 音楽サービスを管理するマスターアカウントです。

■ HEOS アカウントが必要な理由

HEOS アカウントでログインすれば、例えば友人宅の HEOS システムで音楽を聞くとときでも、アカウント登録しているストリーミング音楽サービスや再生履歴、カスタムプレイリストにアクセスできます。

■ HEOS アカウントに登録する

HEOS アプリの“ホーム”メニューからはじめて音楽サービスにアクセスすると、HEOS アカウントへの登録をおすすめするメッセージと登録画面を表示します。HEOS アプリの案内に従って操作を完了してください。



- HEOS アカウントの設定情報は、本機と HEOS アプリで同期しています。アカウントの設定変更やサインアウトは HEOS アプリからおこなってください。

■ HEOS アカウントを変更する

- 1 “ホーム”タブをタップする。
- 2 画面右上の設定アイコン  をタップする。
- 3 画面右上の HEOS アカウント  アイコンをタップする。
- 4 位置情報の変更やパスワードの変更、アカウントの削除、サインアウトをおこなう。



- HEOS アプリでアカウント設定を変更したりサインアウトしたりすると、本機のアカウント設定も自動的に同期します。HEOS アカウントを切り替えるには、本機に同期したいアカウントで HEOS アプリにサインインしてから音楽を再生してください。“HEOS アカウント”が自動的に切り替わります。

ストリーミング音楽サービスを再生する

無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

ご注意

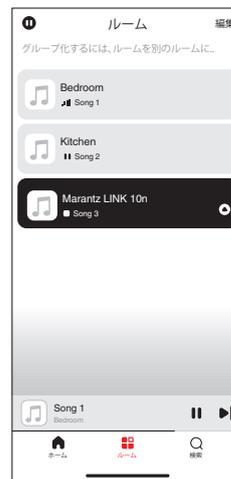
- HEOS アプリおよびブランドは、どちらのモバイルデバイスの製造元とも提携していません。音楽サービスの提供は地域によって異なります。製品購入時にすべてのサービスが利用できるわけではありません。音楽サービスプロバイダまたは第三者の決定に基づき、いくつかのサービスが追加または中止されることがあります。

■ 再生する部屋/HEOS 機器を選ぶ

- 1 “ルーム”タブをタップする。複数の HEOS 機能搭載機器がある場合は、“Marantz LINK 1On”を選ぶ。



- 編集モードに切り替えるには、右上の“編集”をタップしてください。表示名を変更することができます。

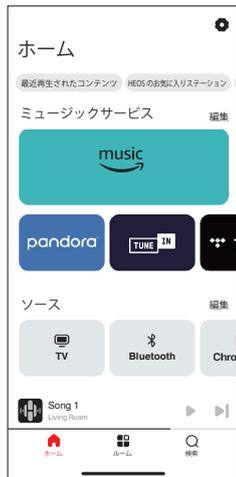


■ 音楽ソースから音楽や放送局を選ぶ

1 “ホーム”タブをタップし、音楽ソースを選ぶ。



- 画面に表示されている音楽サービスは、お住まいの地域により利用できない場合があります。



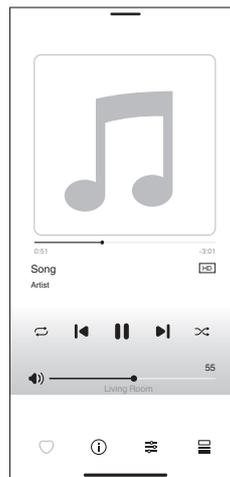
2 再生したい音楽を選ぶ。

音楽または放送局を選ぶと、自動的に“再生中”画面に切り替わります。

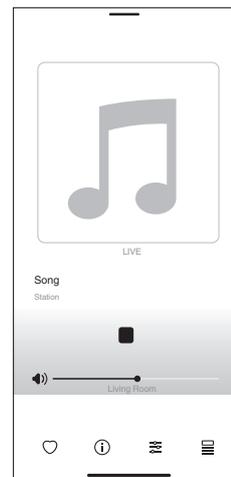


- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに HEOS アプリから再生操作をおこなうと、本機の電源は自動的にオンになります。(「ネットワーク制御」(P.108 ページ))

音楽ファイル



ストリーミング

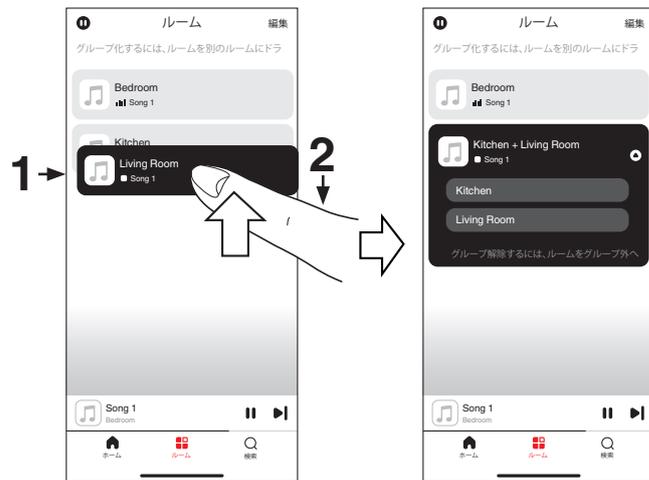


同じ音楽を複数の部屋で聴く

このシステムでは、複数の HEOS 機能搭載機器間で音楽再生を自動的に同期できます。これにより、さまざまな部屋で再生される音楽が完全に同期し、常に素晴らしいサウンドを得ることができます。このシステムでは最大 32 台の機器を簡単に追加できます。また最大 16 のグループ化が可能で、グループごとに完全に同期して楽曲を再生できます。

■ 部屋をグループ化する

- 1 音楽を再生していない部屋をホールド(指で押さえたままに)する。
- 2 そのまま音楽を再生している部屋までドラッグする。
- 3 2つの部屋が1つのグループにグループ化され、両方の部屋で同じ音楽を再生する。

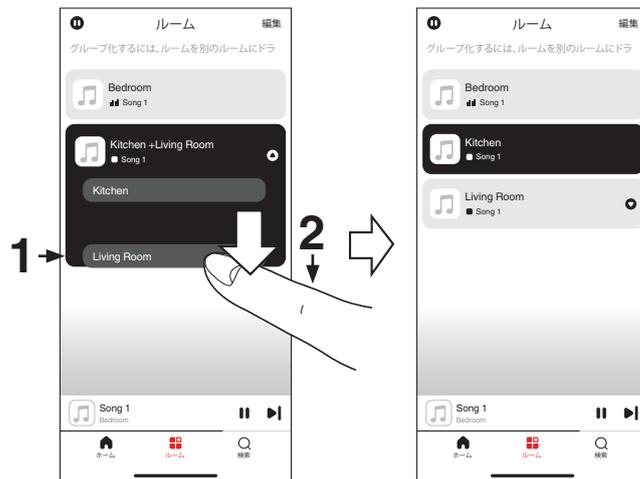


■ 部屋のグループ化を解除する

- 1 グループから外したい部屋をホールド(指で押さえたままにする)。
- 2 グループの外にドラッグして、指を離す。

ご注意

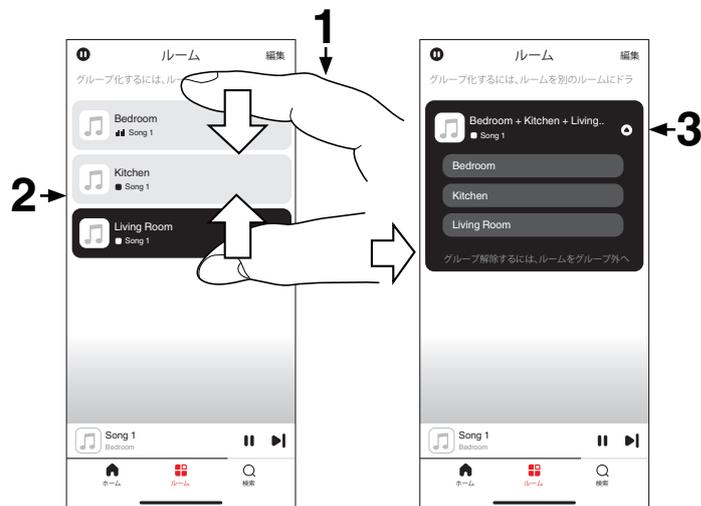
- グループ化は音楽を再生している部屋が基準となるため、その部屋をグループから解除できません。



■ すべての部屋をグループ化する(パーティーモード)

ピンチジェスチャーを使用して、最大 16 の部屋をグループ化できます。

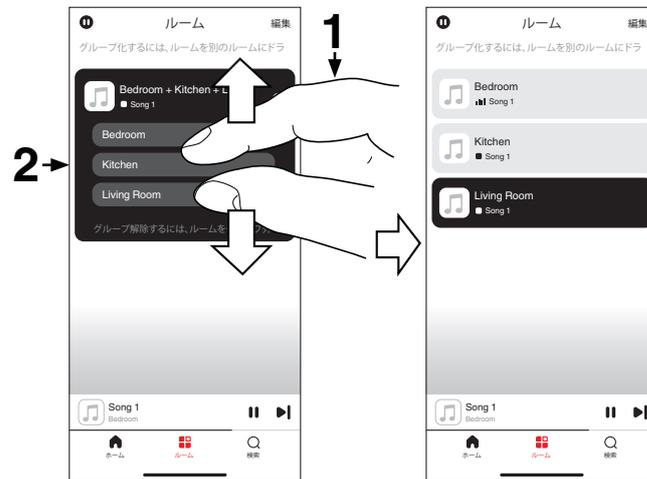
- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を置く。
- 2 2本の指ですばやくつまむ動作をして、画面から離す。
- 3 すべての部屋をグループ化し、同じ音楽がすべての部屋で再生する。



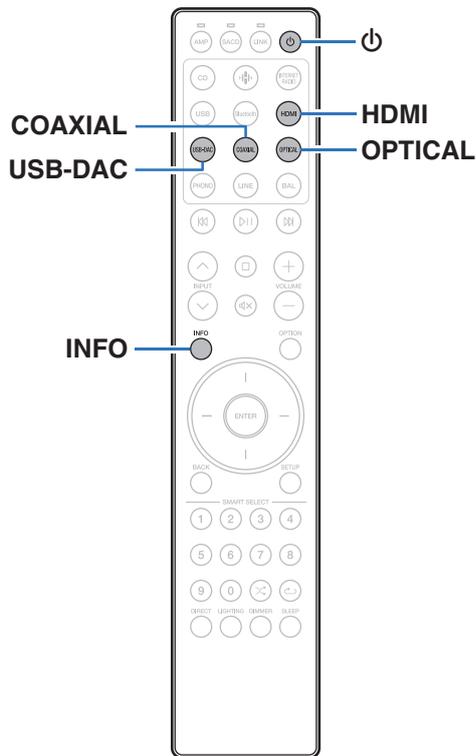
■ すべての部屋のグループ化を解除する

スプレッドジェスチャーを使用して、すべての部屋のグループ化を解除できます。

- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を近づけて置く。
- 2 2本の指をすばやく互いに遠ざけ、画面から離す。
- 3 すべての部屋のグループ化を解除する。



デジタル入力を再生する



テレビやデジタル機器と接続して再生する (HDMI/Coaxial/Optical 1 / Optical 2)

- 1 再生の準備をする。
接続を確認して、本機の電源を入れてください。(「テレビを接続する」(P.28 ページ)、「デジタル音声出力端子付きの機器を接続する」(P.33 ページ))
- 2 HDMI、COAXIAL または OPTICAL を押して、入力ソースを“HDMI”、“Coaxial”、“Optical 1”または“Optical 2”に切り替える。
- 3 本機に接続した機器を再生する。
 - サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し”を表示します。
 - 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応フォーマット”を表示します。



- 設定メニューの“テレビ入力”の設定をおこなうと、本機に接続したテレビの電源オン操作に連動して自動的に本機の電源をオンにし、入力ソースを“HDMI”、“Coaxial”、“Optical 1”または“Optical 2”に切り替えます。(P.102 ページ)
- テレビを光デジタル接続または同軸デジタル接続している場合、テレビの電源オフ操作で本機をスタンバイ状態にできません。自動的に本機をスタンバイにしたい場合は、設定メニューの“オートスタンバイ”を設定してください。(P.105 ページ)

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などリニア PCM 以外の信号は入力しないください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。

■ 音声フォーマットおよびサンプリング周波数を表示する

再生中に INFO を押す。

- ボタンを押すたびに、表示/非表示を切り替えます。

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.139 ページ)をご覧ください。

■ HDMI コントロール機能

本機と HDMI コントロール機能対応のテレビを HDMI ケーブルで接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、テレビのリモコンで本機の基本操作(入力ソース切り替え、電源オン/オフ、音量調節)をおこなえます。

HDMI コントロール機能については、「HDMI について」(P.144 ページ)をご覧ください。

パソコンと接続して再生する(USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- macOS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン(動作環境)

OS

- Windows 10 および Windows 11
- macOS 13 および 14

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver.2.0

ご注意

- 当社ではこれらの動作環境で確認をしていますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows 10 および Windows 11 は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- Apple、Macintosh、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Windows
OS

専用ドライバーソフトのインストール(☞74 ページ)

macOS

オーディオ装置の確認のしかた(☞80 ページ)

■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

□ パソコンへドライバーソフトをインストールする方法

1 本機とパソコンの USB 接続を解除する。

- 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
- パソコンにドライバーソフトをインストールする前に本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合は、USB 接続を解除して、パソコンを再起動してください。

2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト LINK 10n のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。

3 ダウンロードファイルを解凍し、.exe ファイルをダブルクリックする。

4 ドライバーソフトをインストールする。

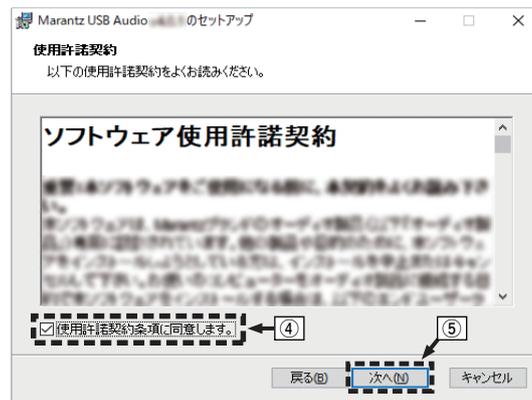
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK”をクリックする。



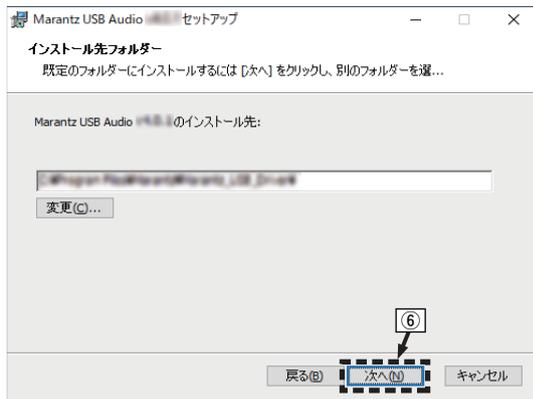
- ③ ウィザードメニューが表示されたら“次へ(N)”をクリックする。



- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“使用許諾契約条項に同意します。”を選ぶ。
⑤ “次へ(N)”をクリックする。



⑥ インストール先を選び、“次へ(N)”をクリックする。



⑦ インストール開始ダイアログの“インストール”をクリックする。

- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



- ⑧ インストール終了画面を表示したら“完了(F)”をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(市販)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンまたは Mac と接続する」(P.34 ページ)をご覧ください。

6 電源を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 USB-DAC を押して入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

8 インストールしたドライバーを確認する。

- ① パソコンの“コントロールパネル”を開く。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“LINK 10n”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“LINK 10n”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“LINK 10n”を選び、“プロパティ(P)”をクリックする。
 - プロパティ画面を表示します。



- ② “詳細”タブをクリックする。
- ③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
 - “2チャンネル、32ビット、192000 Hz(スタジオの音質)”に設定することをおすすめします。
- ④ “適用(A)”をクリックする。
- ⑤ “テスト(T)”をクリックする。
 - 本機からパソコンの音声出力されることを確認します。

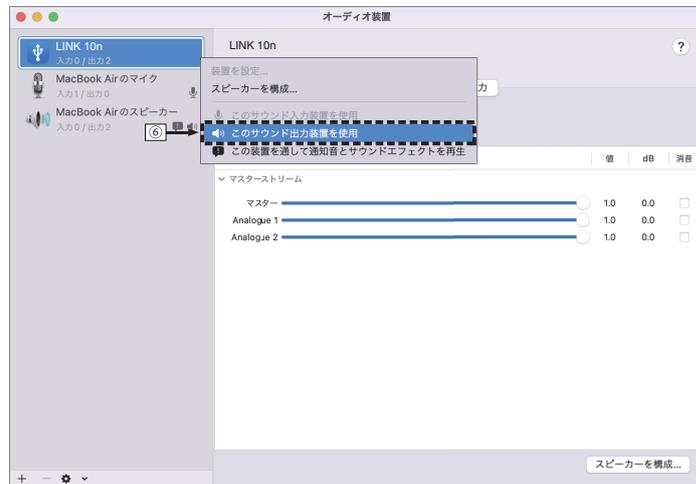




- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- サンプリング周波数 352.8kHz/384kHz のファイルをダウンサンプリングせずに再生する場合は、ASIO (Audio Stream Input Output) ドライバーに対応したプレーヤーソフトが必要です。ASIO ドライバーでの再生は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、<https://support-jp.marantz.com/>の FAQ をご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

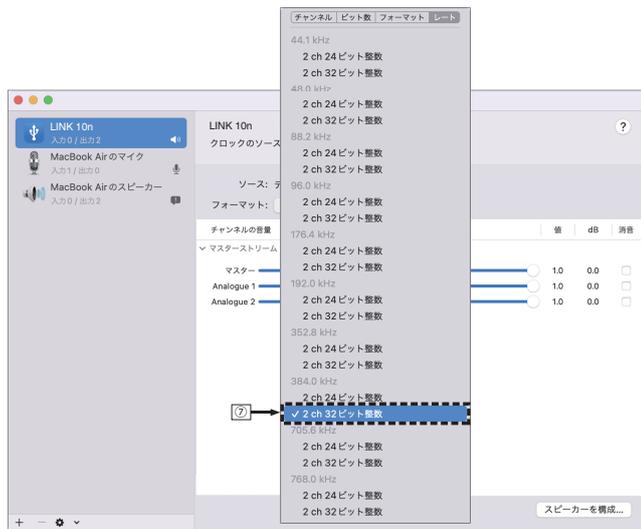
■ オーディオ装置の確認(macOS のみ)

- ① 本機の電源をオフにしたまま、本機と Mac を USB ケーブル（市販）で接続する。
 - 接続のしかたは「パソコンまたは Mac と接続する」をご覧ください。（P.34 ページ）
- ② **⏻** を押す。
- ③ USB-DAC を押して入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。
- ④ パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
 - ユーティリティの一覧を表示します。
- ⑤ “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
 - “オーディオ装置”画面を表示します。
- ⑥ “LINK 10n”に、“このサウンド出力装置を使用”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“LINK 10n”を選択してクリックし、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



⑦ “LINK 10n”のフォーマットを選ぶ。

- “2 ch 32 ビット整数 384.0 kHz”に設定することをおすすめします。



⑧ Audio MIDI 設定を終了する。

■ 再生

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)にパソコンを接続してください。(P.34 ページ)

1 USB-DAC を押して入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応フォーマット”を表示します。

■ 音声フォーマットおよびサンプリング周波数を表示する

再生中に INFO を押す。

- ボタンを押すたびに、表示/非表示を切り替えます。

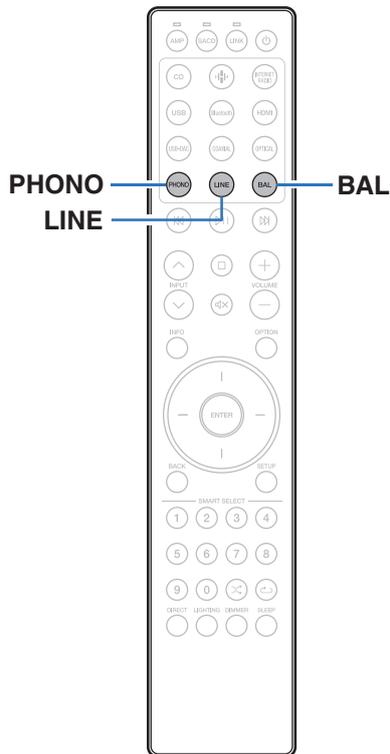
■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.139 ページ)をご覧ください。



- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続をはずすと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続をはずしてください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

アナログ入力を再生する



- 1 再生の準備をする。
接続を確認して、本機の電源を入れてください。(「再生機器を接続する」(P.26 ページ))
- 2 LINE、BAL または PHONO を押して入力ソースを“Line”、“Balanced”または“Phono”に切り替える。
- 3 本機に接続した機器を再生する。

AirPlay 機能

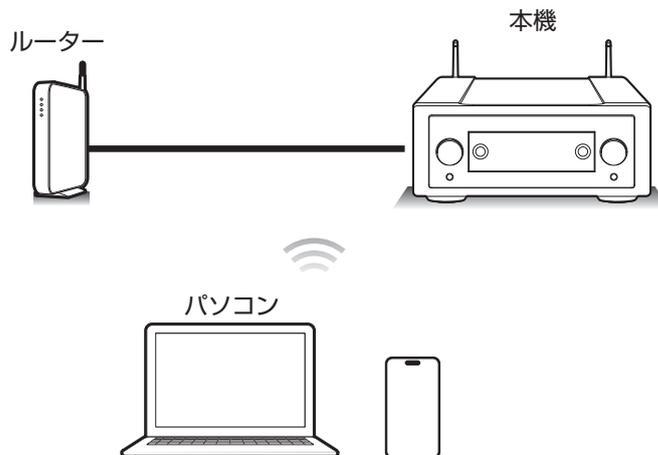
iPhone、iPod touch、iPad、Mac や Windows パソコンに保存されている音楽ファイルをネットワークを経由して本機で再生できます。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に “AirPlay” に切り替わります。
- 他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

本機は AirPlay 2 対応製品です。

複数の AirPlay 2 に対応したデバイスやスピーカーと同期して音楽を同時に再生することが可能です。



iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad、Mac の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

- 1 iPhone、iPod touch、iPad または Mac を本機と同じネットワークに Wi-Fi 接続する。
 - 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 Apple Music を開いて iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を再生する。
- 3 AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選ぶ。

【例】iOS 15 または macOS 13



【例】iOS 10



- 他のアプリの曲を AirPlay でストリーミングすることもできます。コントロールセンターを開き AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選んでください。
- AirPlay を使用するには、iOS 10.0.2 以降または OS X Mountain Lion 10.8 以降が必要です。

Windows パソコンの曲を本機で再生する

- 1 本機と同じネットワークに接続している Windows パソコンに、iTunes 10 以降をインストールする。
- 2 iTunes を起動し、AirPlay アイコンをクリックして、本機を選ぶ。

【例】iTunes



- 3 iTunes で曲を選び、再生する。
本機で再生をはじめます。



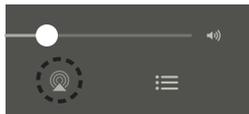
- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、iTunes の操作で本機の電源をオンにできます。(P.108 ページ)
- iTunes の使用方法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。

iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を複数の機器で同期して再生する(AirPlay 2)

iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を AirPlay 2 対応の複数の機器で同期して再生できます。

1 iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を再生する。

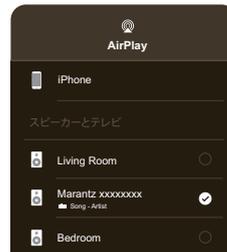
iPhone、iPod touch、iPad または Mac の画面に AirPlay アイコンを表示します。



2 AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選ぶ。

同一ネットワーク上で再生可能な機器/スピーカーの一覧を表示します。

- AirPlay 2 対応の機器名には右側に丸い印が表示されます。



3 再生したい機器/スピーカーを選ぶ。

- AirPlay 2 対応機器は複数台選ぶことができます。



- AirPlay 2 を使用するには、iOS 11.4 以降または macOS Catalina 以降が必要です。

Spotify Connect機能

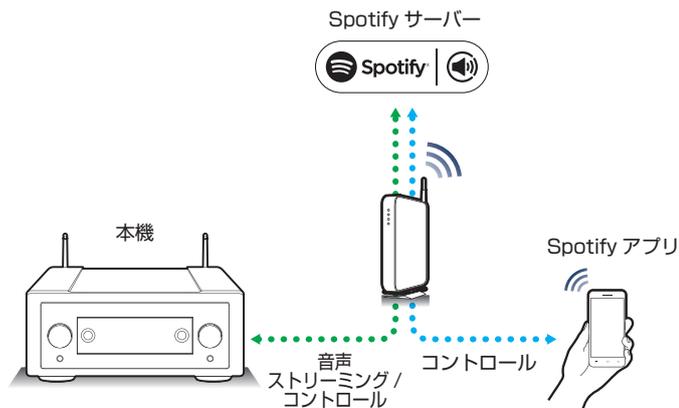
Spotify にはあなたが聴きたい音楽があります。何千万もの楽曲の中からあなたの好みに合ったお奨めの音楽をお楽しみいただけます。従来のプレミアムアカウント(有料)に加え、無料アカウントでも Spotify Connect をご利用になれます。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを操作して、Spotify の音楽を楽しめます。

詳しくは、www.spotify.com/jp/connect をご覧ください。

Spotify ソフトウェアには次のサードパーティのライセンスが適用されます。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses

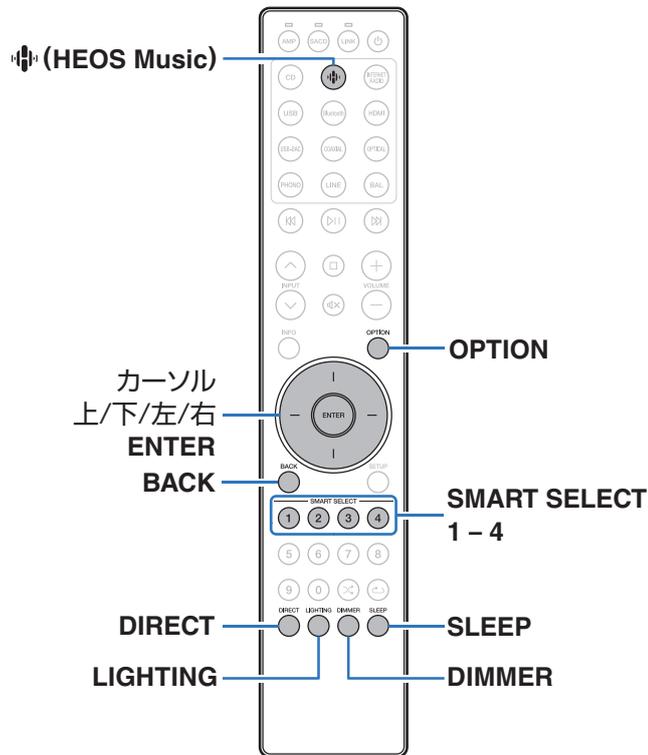


Spotify の曲を本機で再生する

あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に “Spotify アプリ” をダウンロードしてください。

- 1 iOS または Android 機器の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。
- 2 Spotify アプリを起動する。
- 3 Spotify の曲を再生する。
- 4 Spotify アイコン  をタップして、本機を選ぶ。
本機で再生をはじめます。

便利な機能



- ここでは、各入力ソースで使用できる便利な機能の操作方法を説明します。
- “HEOS お気に入り”に関する操作は、アプリを使用するとより便利におこなえます。アプリの入手方法については、「HEOS アプリをダウンロードする」(P.61 ページ)をご覧ください。

HEOS お気に入り再生する

本機で初めて HEOS お気に入り機能を使用する場合は、HEOS アプリで HEOS アカウントを作成するか、作成済みのアカウントにサインインしてください。HEOS アカウントを作成またはサインインすると、本機でお気に入りのストリーミングラジオ局を保存したり呼び出したりできる HEOS お気に入り機能を使用できます。

1 (HEOS Music) を押す。

再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。

2 カーソル 上/下を押して“お気に入り”を選び、ENTER を押す。

3 カーソル 上/下を押して再生したいコンテンツを選び、ENTER を押す。

4 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”を選び、ENTER を押す。



- 本機が HEOS アプリの HEOS アカウントと同期していない場合、HEOS Music のトップメニューから“お気に入り”を選べなくなります。
- 本体の  ボタンを押しても、“HEOS お気に入り”リストを表示できません。

HEOS お気に入りに追加する

この機能はストリーミング配信のコンテンツにのみはたらきません。

1 コンテンツの再生中に OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

2 カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入りに追加”を選び、ENTER を押す。

3 カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入り”に登録したい番号を選び、ENTER を押す。

HEOS お気に入り削除する

- 1 **⏮(HEOS Music)を押す。**
再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度 **⏮(HEOS Music)** を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。
- 2 **カーソル 上/下を押して“お気に入り”を選び、ENTER を押す。**
- 3 **HEOS お気に入りリスト表示中にカーソル 上/下を押して、HEOS お気に入りリストから削除したい項目を選び、ENTER を押す。**
- 4 **カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入りから削除”を選び、ENTER を押す。**

音質および音量バランスを調節する

プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)とヘッドホン端子から出力される音声信号の音質および音量バランスを調節します。

■ 音質を調節する

- 1 **OPTION を押す。**
ディスプレイにオプションメニュー画面を表示します。
- 2 **カーソル 上/下を押して“トーン”を選び、ENTER を押す。**
- 3 **カーソル 上/下を押して“低音”または“高音”を選ぶ。**
- 4 **カーソル 左/右を押して低音または高音の音量を調節する。**



- ソースダイレクトモードがオンの場合、音質調節機能は動作しません。

■ 音量バランスを調節する

- 1 **OPTION** を押す。
ディスプレイにオプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して**“バランス”**を選び、**ENTER**を押す。
- 3 カーソル 左/右を押して音量バランスを調節する。



- ソースダイレクトモードがオンの場合、音量バランス調節機能は動作しません。

ソースダイレクトモードで再生する

音声信号が音質調節回路を通らないため、より原音に忠実な再生ができます。

ソースダイレクトモードは、プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)とヘッドホン端子から出力される音声信号にのみはたります。

- 1 **DIRECT** を押してソースダイレクトモードをオンにする。
ディスプレイに**“ソースダイレクト”**を表示します。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさは、100%からオフ(0%)まで5%刻みで調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。

ディスプレイにディマーメニュー画面を表示します。

2 カーソル 上/下を押してディスプレイの明るさを調節する。

- DIMMER を押してもディスプレイの明るさを調節できません。



- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、100%で一時的に情報を表示します。
- お買い上げ時のディスプレイの明るさの設定は100%です。
- ディスプレイの明るさの設定は、設定メニューの“イルミネーション” - “ディスプレイ”の設定と連動します。(P.104 ページ)
- LIGHTING を押して消灯した状態では、DIMMER ボタン操作がはたらきません。

イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える

イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。イルミネーションおよびディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 LIGHTING を押す。

- ボタンを押すたびに、イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。



- 設定メニューの“イルミネーション”でイルミネーションおよびディスプレイの明るさをそれぞれ設定できます。(P.104 ページ)
- LIGHTING を押して点灯させると、イルミネーションおよびディスプレイの明るさが設定メニューの“イルミネーション”で設定した明るさで点灯します。(P.104 ページ)

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにします。音楽などを聴きながらおやすみになるときに便利です。

1 再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。

- 設定時間は 10 分間隔で最大 90 分まで選択できます。
- 約 5 秒後、設定を確定しもとの表示に戻ります。
- スリープアイコンと残り時間をディスプレイに表示します。

■ スリープタイマーを解除する

1 SLEEP を押して“オフ”を選ぶ。

ディスプレイのスリープアイコンが消灯します。



- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーを設定した状態で SLEEP を押すと、スリープタイマーが動作するまでの残り時間を表示します。

音量を常に表示する(“プリアンプアウト”設定が“オン”の場合)

設定メニューで“プリアンプアウト”を“オン”に設定し、本機をプリアンプとして使用すると、ディスプレイに音量を常に表示できます。(P.99 ページ)

1 再生中に BACK を押す。

ディスプレイに音量表示画面を表示します。



- 入力ソースが HEOS または Bluetooth の場合は音量表示画面に切り替わりません。
- 音量を表示中に BACK を押すと前の画面に戻ります。

スマートセレクト機能

SMART SELECT 1~4 ボタンに入力ソース、音量、ソースダイレクトおよびオプションメニューの音質の設定などを登録できます。

設定を登録した SMART SELECT ボタンを押すだけで、登録したさまざまな設定を一度に切り替えることができます。

よく使う設定を SMART SELECT 1~4 ボタンに登録しておくことで、常に同じ再生環境を簡単に呼び出して楽しみいただくことができます。

■ 設定を呼び出す

1 SMART SELECT を押す。

押したボタンに記憶している設定内容を呼び出します。

- お買い上げ時の入力ソースの設定は、次のとおりです。

ボタン	入力ソース
SMART SELECT 1	HEOS
SMART SELECT 2	Balanced
SMART SELECT 3	Phono
SMART SELECT 4	HDMI



- お買い上げ時の音量は、スマートセレクト機能に記憶されていません。スマートセレクト機能で音量を登録したい場合は、「設定を変更する」を参照しておこなってください。(P.94 ページ)

■ 設定を変更する

1 次の内容を登録したい設定にする。

- ① 入力ソース (P.44 ページ)
- ② 音量 (P.44 ページ)
- ③ ソースダイレクト (P.91 ページ)
- ④ オプションメニューのトーン (P.90 ページ)



- 次の入力ソースで、ラジオの受信中に SMART SELECT を長押しすると、受信中のラジオ局を記憶します。
 - インターネットラジオ局/Spotify

2 変更したい SMART SELECT を 3 秒以上長押しする。

“保存しました”を表示し、現在の設定を登録します。

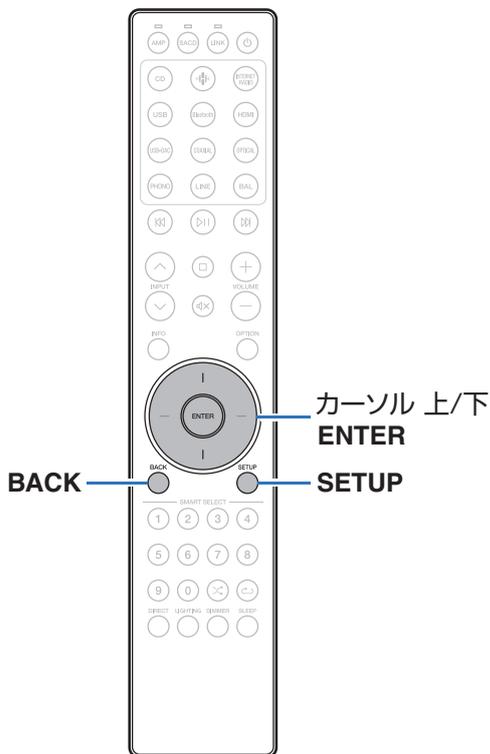
設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。
お買い上げ時の設定はおすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズできます。

設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
オーディオ	フィルター	本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。	98
	ディザー	この機能はノイズシェーパー内の量子化器の誤差を最小化するため、入力された音声信号に微小かつランダムな値を加えます。設定を変えることで S/N 比がわずかに変化し、音質も変わります。お好みに合わせて設定してください。	98
	ノイズシェーパー	デジタル負帰還を使用し、可聴帯域のリニアリティ、ノイズ特性を改善します。設定を変えても性能は変わりませんが、音質は変わります。お好みに合わせて設定してください。	99
	プリアンプアウト	プリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) からの音声信号出力のオン/オフを切り替えます。	99
	音量表示	音量の表示方法を設定します。	100
	音量の上限	音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。	100
	デジタル出力	デジタル音声出力を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。	100
	HP アンプゲイン	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。ご使用のヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定することで、ヘッドホン再生を適切な音量でお楽しみいただけます。	100
	フォノイコライザー	接続するレコードプレーヤーのカートリッジの種類やインピーダンスに応じて、本機のフォノイコライザーを設定します。	101
ローパスフィルター	サブウーハー出力のローパスフィルターを設定します。お手持ちのスピーカーとサブウーハーに合わせて設定してください。	101	

設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
テレビ	テレビ入力	テレビの音声を本機で再生するときに設定します。	102
	HDMI パワーオフコントロール	テレビの電源オフ操作に連動して本機の電源がスタンバイになる、“HDMI パワーオフコントロール”機能の設定をします。	103
一般	イルミネーション	フロントパネルのイルミネーションとディスプレイの明るさを調節できます。また、フロントパネルのイルミネーションをディスプレイの明るさに連動させることもできます。明るさを“オフ”にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生がおこなえます。	104
	言語	ディスプレイに表示する言語を設定します。	104
	オートスタンバイ	未使用時、本機の電源を自動的にスタンバイにします。	105
	リセット	各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。	105
ネットワーク	ネットワーク情報	ネットワークの各種情報を表示します。	106
	Wi-Fi	Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。	106
	Bluetooth	Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。Bluetooth 送信の設定をします。	107
	ネットワーク制御	スタンバイ時のネットワーク機能のオン/オフを設定します。	108
	AirPlay 設定	本機を WAC モードにします。iOS 機器を使用してネットワークに接続する際に設定します。	109



設定メニューの操作のしかた

- 1 **SETUP** を押す。
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- 2 **カーソル 上/下** を押して設定または操作したい設定メニューを選び、**ENTER** を押す。
- 3 **カーソル 上/下** を押してお好みの設定に変更する。

 - 一部のメニュー項目では手順 3 が不要な場合があります。この場合、ENTER を押すたびに設定のオン/オフが切り替わります。
- 4 **ENTER** を押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、BACK を押してください。
 - 設定メニューを終了するときには、設定メニュー表示中に **SETUP** を押してください。通常表示に戻ります。

オーディオ

音声に関する設定をします。

フィルター

本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。PCM 入力信号に対応しています。

フィルター 1 (お買い上げ時の設定):	インパルス応答は、プリエコー、ポストエコー共に短い特性です。非常に正確なサウンドステージとスムーズなトーンバランスです。
フィルター 2:	非対称インパルス応答と呼ばれる特性を持ったフィルターです。プリエコーに対してポストエコーが少し長めです。アナログ的な音質傾向です。

ディザー

ディザーはデジタル信号処理の過程で発生してしまう誤差を回避するため、入力された音声信号に微小かつランダムな値を加える機能です。ディザーを加えることにより、わずかな S/N 比の変化があります。お好みに合わせて設定してください。

ディザー 1 (お買い上げ時の設定):	当社が開発したディザーです。誤差を減少させ、かつ S/N 比の悪化を最小限に抑えます。
ディザー 2:	一般的なディザーです。誤差を減少させますが、S/N 比もわずかに悪化します。
オフ:	S/N 比は最も良くなりますが、誤差がサウンドステージや音色にわずかに影響します。

ご注意

- DSD ファイルの再生中は、ディザー機能がはたらきません。

ノイズシェーパ

デジタル負帰還技術を用いて可聴帯域内のリニアリティとノイズ特性を改善します。設定の種類は次のとおりです。設定を変えても性能は変わりませんが、音質は変わります。お好みに合わせて設定してください。

バランス (お買い上げ時の設定):	高い S/N 比と開放的で精緻なサウンドステージを高度にバランスさせた設定です。
ナチュラル:	高い S/N 比と自然な音調の設定ですが、解像度は抑え目です。
ダイナミック:	S/N 比は高いですが、サウンドステージの解像度がわずかに下がります。周波数レンジの広い音楽をダイナミックに再生します。
ポイス:	5kHz 以下の帯域で高い S/N 比を持っています。生の楽器やボーカルをダイナミックに再生します。

ご注意

- DSD ファイルの再生中は、ノイズシェーパ機能がはたらきません。

プリアンプアウト

プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)からの音声信号出力のオン/オフを切り替えます。

オン
(お買い上げ時の設定):

プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)からの音声信号出力を有効にします。HEOS アプリやテレビのリモコン(HDMI コントロール機能)で本機のプリアンプ出力端子(PREAMP OUT)から出力する音声信号の音量を調節します。

オフ:

プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)からの音声信号出力を無効にします。HEOS アプリやテレビのリモコン(HDMI コントロール機能)で本機に接続された Marantz 製アンプの音量を調節します。



- 本機に接続する Marantz 製アンプとテレビによっては、テレビのリモコン(HDMI コントロール機能)での音量調節がはたらかない場合があります。

音量表示

音量の表示方法を設定します。

0 - 100 (絶対値)
(お買い上げ時の設定): 音量を絶対値で表示します。

-99.5 dB - 0 dB (相対値): 音量を相対値で表示します。

音量の上限

音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。

オフ
(お買い上げ時の設定): 音量の上限を設定しません。(100(0 dB))

95.0 (-5.0 dB) / 90.0 (-10.0 dB) / 85.0 (-15.0 dB) / 80.0 (-20.0 dB)

デジタル出力

デジタル音声出力を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

オン
(お買い上げ時の設定): デジタル音声出力を有効にします。

オフ: デジタル音声出力を無効にします。

HP アンプゲイン

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“低”側に、高い場合は“高”側に設定することをおすすめします。

高: ヘッドホンアンプのゲインを“高”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が小さいと感じる場合に設定してください。

中
(お買い上げ時の設定): ヘッドホンアンプのゲインを“中”に設定します。

低: ヘッドホンアンプのゲインを“低”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が大きいつと感じる場合に設定してください。

ご注意

- HP アンプゲインの設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げるか消音にしておこなってください。

フォノイコライザー

接続するレコードプレーヤーのカートリッジの種類やインピーダンスに応じて、本機のフォノイコライザーを設定します。

MM (お買い上げ時の設定):	MM カートリッジの場合に設定します。
MC - 低:	50Ω 未満の MC カートリッジの場合に設定します。
MC - 中:	50Ω 程度の MC カートリッジの場合に設定します。
MC - 高:	100Ω 以上の MC カートリッジの場合に設定します。



- MC カートリッジの場合は、ご使用になるカートリッジの推奨入力インピーダンスに最も近い値か、カートリッジ内部インピーダンスの数倍程度の値に合わせて設定してください。
- 本設定の切り替え操作をおこなった場合、切り替えてから約 4 秒後に再生音を出力します。

ローパスフィルター

サブウーハー出力のローパスフィルターを設定します。お手持ちのスピーカーとサブウーハーに合わせて設定してください。出力音声信号の周波数が設定値より低い場合に設定してください。

40 Hz / 60 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 120 Hz (お買い上げ時の設定: 80 Hz)

テレビ

テレビ入力

テレビの音声を本機で再生するときに設定します。テレビの電源オン操作に連動して本機の電源がオンになり、自動的に入力ソースを“HDMI”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に切り替えて、テレビの音声を本機で再生できます。

■ デフォルト入力

本機でテレビの音声を再生するときの入力ソースを設定します。テレビとの接続に使用する端子に合わせて設定してください(HDMI (ARC)、OPTICAL 1/2 入力または COAXIAL 入力)。

無し / HDMI (ARC) / Optical 1 / Optical 2 / Coaxial In
(お買い上げ時の設定:HDMI (ARC))

■ 自動再生

本機にテレビの音声信号を入力すると、自動的に入力ソースを“デフォルト入力”で設定した入力ソースに切り替えて、テレビの音声を本機で再生する自動再生機能の設定をします。

オン
(お買い上げ時の設定): 自動再生機能を有効にします。

オフ: 自動再生機能を無効にします。



- “デフォルト入力”を“無し”に設定している場合は、自動再生機能ははたらきません。あらかじめ“デフォルト入力”の設定をおこなってください。
- 本機の OPTICAL 1/2 入力端子および COAXIAL 入力端子から入力された音声信号のサンプリング周波数が 88.2kHz 以上の場合、自動再生機能ははたらきません。テレビは一般的に 48kHz の音声信号を出力しますので自動再生機能ははたらきますが、88.2kHz 以上の音声信号を出力する機器を接続すると自動再生機能ははたらかない場合があります。

HDMI パワーオフコントロール

HDMI 接続しているテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がスタンバイになる“HDMI パワーオフコントロール”機能の設定をします。

すべて (お買い上げ時の設定):	本機の入カソースに関わらず、テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。
HDMI (ARC):	入カソースが HDMI のときにテレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。
オフ:	本機はテレビの電源に連動しません。

一般

イルミネーション

イルミネーションおよびディスプレイの明るさを調整できます。また、イルミネーションをディスプレイの明るさに連動させることもできます。明るさを“オフ”にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生がおこなえます。

■ ディスプレイ

100～5(お買い上げ時の設定: 100)

オフ:



- ディスプレイの明るさ設定は、ディマーマニューの設定と連動します。(P.92 ページ)

■ フロントパネル

同期 (お買い上げ時の設定): イルミネーションの明るさが、ディスプレイの明るさに連動します。

100～5

オフ:

言語

ディスプレイに表示する言語を設定します。

日本語 / English(お買い上げ時の設定: 日本語)

オートスタンバイ

入力信号がない状態で本機を操作しないときに、本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。

オフ (お買い上げ時の設定):	本機を自動的にスタンバイ状態にしません。
1分:	約 1 分後に本機をスタンバイ状態にします。
5分:	約 5 分後に本機をスタンバイ状態にします。
15分:	約 15 分後に本機をスタンバイ状態にします。
カスタム:	1～99 分の間で本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。カーソル 上/下を押して時間を設定したあと、ENTER を押して設定を確定します。

リセット

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。

はい:	リセットします。
いいえ (お買い上げ時の設定):	リセットしません。

ネットワーク

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

名前 / 接続 / SSID / DHCP / IP アドレス / MAC アドレス (Ethernet) / MAC アドレス (Wi-Fi)

Wi-Fi

Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。有線 LAN を使用して本機をネットワークに接続する場合に、高音質な再生ができます。

オン
(お買い上げ時の設定): Wi-Fi 機能をオンにします。

オフ: Wi-Fi 機能をオフにします。

Bluetooth

Bluetooth

Bluetooth の受信機能と送信機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

オン
(お買い上げ時の設定): Bluetooth 機能をオンにします。

オフ: Bluetooth 機能をオフにします。

ヘッドホン

Bluetooth ヘッドホン送信機能の有効/無効を設定します。本機の音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くときにおこなう設定です。

オン: Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用します。

オフ
(お買い上げ時の設定): Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用しません。

出力モード

音声の出力方法を選択します。

ヘッドホン + スピーカー
(お買い上げ時の設定):

音声は、Bluetooth ヘッドホン、アナログ音声出力端子 (LINE OUT)、プリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) に出力されます。スピーカー付きのアンプを本機のアナログ音声出力端子 (LINE OUT) またはプリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) に接続してください。

ヘッドホン:

音声は Bluetooth ヘッドホンに出力されます。



- “ヘッドホン” に設定されている場合でも、アナログ音声出力端子 (LINE OUT) からは音声が出力されます。

デバイス

- 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンがペアリングモードに入ると、使用可能な機器がデバイスリストに表示されます。リストから機器名を選択して本機とペアリングしてください。
- 本機に接続できる機器は 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth 機器を登録することができます。メニューの “Bluetooth” - “デバイス” から登録済みの機器を切り替えることができます。
- 登録済みの機器をリストから削除したい場合は、カーソル上/下ボタンを押して機器名を選択後、OPTION ボタンを押して “このデバイスの登録を削除” を選択してください。



- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth 送信機能と Bluetooth 受信機能を同時に使用することはできません。Bluetooth 機器で音楽を聴いている場合、Bluetooth 送信機能は使用できません。
- “ヘッドホン”を“オン”に設定していても、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に設定すると、Bluetooth 受信機能が有効になります。スマートフォンなどの Bluetooth 機器に保存されている音楽を本機で再生したい場合は、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを Bluetooth に切り替えてから Bluetooth 機器と再接続してください。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、このメニューは使用できません。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	スタンバイ時でも、ネットワーク機能を停止しません。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。
オフ:	スタンバイ時に、ネットワーク機能を停止します。



- HEOS アプリをご使用になる場合は、“ネットワーク制御”を“オン”に設定してください。

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

AirPlay 設定

本機は、Apple 社の “WAC(Wireless Accessory Configuration)” セットアップモードに対応しています。WAC セットアップモードでは、お手持ちの iOS デバイス (iPhone/iPod/iPad) を使用してネットワークに接続します。iOS デバイスと本機を接続することで、自動的に本機を同じネットワークに接続できます。

1. “AirPlay 設定” 選び、ENTER を押す。
 - 本機が WAC セットアップモードに切り替わります。
2. iOS デバイスの Wi-Fi 設定画面の下部にある “新しい AIRPLAY スピーカーを設定...” から “Marantz LINK 1On” を選ぶ。
 - あらかじめ、iOS デバイスが無線 LAN (Wi-Fi) ルーターに接続していることを確認してください。
3. 本機を接続するネットワークを選び、“次へ” を押す。
4. 画面の指示に従って接続を完了する。
 - 接続が完了すると、ディスプレイに “接続しました” を表示します。

ご注意

- iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。
- WAC セットアップモードは約 15 分間続きます。15 分以内にセットアップが完了しない場合、WAC セットアップモードは自動的に解除されます。手動で WAC セットアップモードを解除する場合は、BACK ボタンを押してください。

ルーターのWPS ボタンを使ってネットワークに接続する

WPS (Wi-Fi Protected Setup™) 対応の無線ルーターをお使いの場合は、本機を『プッシュボタン方式』でネットワークに接続できます。(Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標です。)

1 ルーターの WPS ボタンを押す。

2 2 分以内に本機リアパネルの CONNECT ボタンを 5 秒以上長押しする。

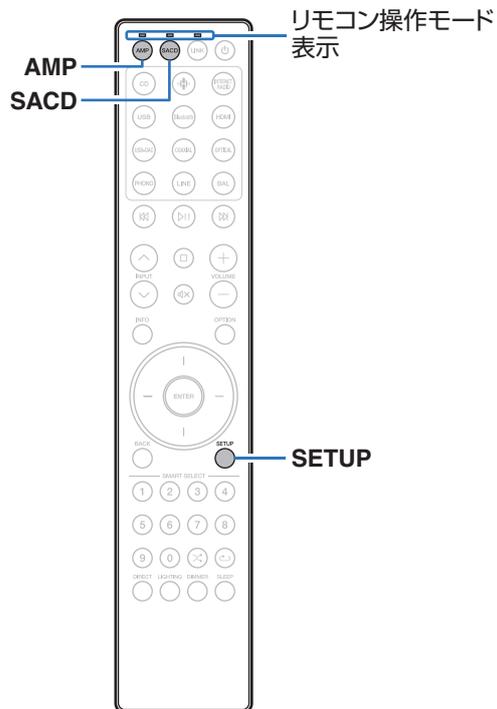
ディスプレイに “WPS 接続中” を表示して接続を開始します。

- 接続が完了すると、ディスプレイに “WPS 接続しました” を表示します。



- リモコンの  (HEOS Music) ボタンを 5 秒以上長押しして、WPS セットアップモードにすることもできます。

リモコンのアンプ/SACD プレーヤー操作モードを無効にする



本機と MODEL 10 または SACD 10 を組み合わせてお使いにならない場合、使用しない機器のリモコン操作モードを無効にできます。お買い上げ時は、すべてのリモコン操作モードを有効に設定しています。



- リモコン操作モードを有効にした場合は、必ずお使いの機器の動作を確認してください。

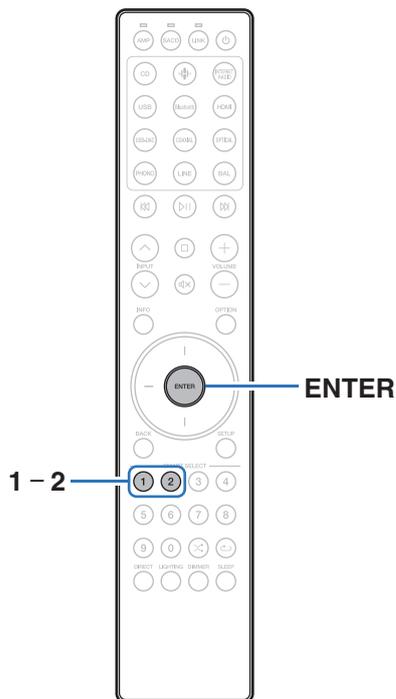
アンプ操作モードを無効にする

- 1 リモコン操作モード表示が緑色に点滅するまで AMP と SETUP を同時に長押しする。
 - 手順 1 をおこなうたびにアンプ操作モードの有効/無効が切り替わります。

SACD プレーヤー操作モードを無効にする

- 1 リモコン操作モード表示が緑色に点滅するまで SACD と SETUP を同時に長押しする。
 - 手順 1 をおこなうたびに SACD プレーヤー操作モードの有効/無効が切り替わります。

リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定する



付属のリモコンは、SACD プレーヤー操作モードでも本機の音量調節ができるよう、音量調節ボタンの操作対象機器を設定できます。また、ストリーミングプリアンプ操作モード時に接続しているアンプの音量を調節できるよう設定することもできます。リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器として「アンプ」または「ストリーミングプリアンプ」を選べます。



- リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定したあとは、必ずお使いの機器の動作を確認してください。
- 操作対象機器設定の切り替えは、リモコンの VOLUME + および VOLUME - に対して有効です。

ストリーミングプリアンプ操作モード時の音量調節ボタンの操作対象機器を設定する

Marantz 製のアンプを本機と組み合わせてお使いの場合、付属のリモコンをストリーミングプリアンプ操作モードに設定した状態で、アンプ操作モードに切り替えることなくアンプの音量を調節できます。

お買い上げ時の操作対象機器の設定は「ストリーミングプリアンプ」です。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器を本機(ストリーミングプリアンプ)に設定する

- 1 リモコンの ENTER と 1 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
LINK 表示が緑色で点滅します。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器をアンプに設定する

- 1 リモコンの ENTER と 2 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
AMP 表示が緑色で点滅します。

SACD プレーヤー操作モード時の音量調節ボタンの操作対象機器を設定する

Marantz 製の SACD プレーヤーを本機と組み合わせてお使いの場合、付属のリモコンを SACD プレーヤー操作モードに設定した状態で、ストリーミングプリアンプ操作モードに切り替えることなく本機の音量を調節できます。

お買い上げ時の操作対象機器の設定は「アンプ」です。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器をアンプに設定する

- 1 リモコンの ENTER と 1 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
AMP 表示が緑色で点滅します。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器を本機(ストリーミングプリアンプ)に設定する

- 1 リモコンの ENTER と 2 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
LINK 表示が緑色で点滅します。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい	116
アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい	116
高音質な再生を楽しみたい	116
テレビの音声を高音質に再生したい	116
HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい	116
電源オフ状態から簡単に操作したい	117
本機にパワーアンプを接続して使いたい	117
誤って音量が大きくならないようにしたい	117
好みの音質に調節したい	117
ディスプレイを消灯したい	117
イルミネーションおよびディスプレイをオフにしたい	117
本機のリモコンで Marantz 製アンプや SACD プレーヤーを操作したい	117

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	119
リモコンで操作ができない	120
本機のディスプレイが表示されない	121
音がまったく出ない	121
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	122
希望する音が出ない	123
AirPlay 再生ができない	124
USB メモリが再生できない	125
Bluetooth が再生できない	126
インターネットラジオが再生できない	128
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)	129
各種オンラインサービスが再生できない	130
無線 LAN ネットワークに接続できない	130
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない(USB-DAC)	131
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC/Coaxial/Optical 1/2)	132
入力ソースが“HDMI”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に切り替わる	132
HDMI コントロール機能がはたらかない	132
アップデート/アップグレードエラーメッセージ	133

こんなときの解決方法

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい

- フィルターの特性を切り替えてください。(🔍 98 ページ)

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい

- 設定メニューの“デジタル出力”を“オフ”に設定してください。(🔍 100 ページ)
- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(🔍 92 ページ)
- LIGHTING ボタンを押して、イルミネーションとディスプレイを消灯にしてください。(🔍 92 ページ)

高音質な再生を楽しみたい

- Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Wi-Fi”を“オフ”に設定してください。(🔍 106 ページ)
- Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Bluetooth”を“オフ”に設定してください。(🔍 107 ページ)

テレビの音声を高音質に再生したい

- 本機の HDMI(ARC)端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応した HDMI 入力端子に接続してください。(🔍 28 ページ)
- ARC 機能に非対応のテレビや、HDMI 端子が無いテレビと接続する場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(🔍 30 ページ)
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2 チャンネルリニア PCM です。

HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい

- “HDMI パワーオフコントロール”の設定を“オフ”にしてください。(🔍 103 ページ)

電源オフ状態から簡単に操作したい

- **II** ボタンを押すと、自動的に本機の電源が入り、最後に選択していた入力ソースの再生をはじめます。
- “ネットワーク制御”の設定を“オン”にすると、AirPlay や HEOS アプリから起動と同時に再生操作ができます。(P.108 ページ)

本機にパワーアンプを接続して使いたい

- プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)にパワーアンプを接続できます。設定メニューの“プリアンプアウト”を“オン”に設定してください。(P.99 ページ)

誤って音量が大きくならないようにしたい

- 設定メニューの“音量の上限”で音量の上限値をあらかじめ設定してください。小さな子供が誤って音量を上げすぎることを防ぎます。(P.100 ページ)

好みの音質に調節したい

- OPTION ボタンを押して、オプションメニューの“トーン”設定を調節します。(P.90 ページ)

ディスプレイを消灯したい

- DIMMER ボタンを押して、ディマーメニューでディスプレイの明るさを調節します。(P.92 ページ)

イルミネーションおよびディスプレイをオフにしたい

- LIGHTING ボタンを押すと消灯します。(P.92 ページ)

本機のリモコンで Marantz 製アンプや SACD プレーヤーを操作したい

- 本機のリモコンでも Marantz 製アンプや SACD プレーヤーを操作できます。また、各機器の取扱説明書も合わせてお読みください。(P.20 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか



- 上記の手順 1～3 をおこなっても動作が改善しない場合、本機を再起動すると改善することがあります。
ディスプレイに“再起動”が表示されるまで、本体の **⏻** ボタンを押し続けるか、本機の電源コードを抜き差ししてください。

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客さま相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P41 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。本体の  ボタンを押すかリモコンの  ボタンを押してください。(P43 ページ)

電源が自動的に切れる。

- スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。(P93 ページ)
- “オートスタンバイ”が設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、設定メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。(P105 ページ)
- “HDMI パワーオフコントロール”が設定されています。HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。“HDMI パワーオフコントロール”を無効にするには、設定メニューの“HDMI パワーオフコントロール”を“オフ”に設定してください。(P103 ページ)

電源を入れたときに、電源表示が橙色に点滅している。

- 内部電源の異常により、保護回路がはたらいています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.9 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.9 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.9 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- LINK ボタンを押して、リモコンの操作モードをストリーミングプリアンプ操作モードに切り替えてください。(P.16 ページ)
- リモコンのストリーミングプリアンプ操作モードが無効になっています。ストリーミングプリアンプ操作モードを有効にするには、LINK ボタンと SETUP ボタンを同時に 3 秒以上長押ししてください。
- VOLUME + および **Q** ボタンの操作対象機器が、Marantz 製アンプになっています。リモコンが SACD プレーヤー操作モードで、本機の音量調節ができない場合は、操作対象機器を本機に切り替えてください。(P.114 ページ)
- VOLUME + および **Q** ボタンの操作対象機器が、Marantz 製アンプになっています。リモコンがストリーミングプリアンプ操作モードで、本機の音量調節ができない場合は、操作対象機器を本機に切り替えてください。(P.114 ページ)
- Marantz 製オーディオ機器がリモート接続されておらず、本機のみで使用される場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “INTERNAL” に切り替えてください。(P.39 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- DIMMER ボタンを押して、ディマーメニューで“オフ”以外に設定してください。(P.92 ページ)
- 設定メニューの“イルミネーション” - “ディスプレイ”を“オフ”以外の設定にしてください。(P.104 ページ)
- LIGHTING ボタンを押して、ディスプレイを点灯してください。(P.92 ページ)

音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(P.22 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- アンプの設定を確認し、適切に調節してください。
- デジタル音声入力端子付きの機器を接続する場合、“デジタル出力”の設定を“オン”にしてください。(P.100 ページ)
- DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8kHz 以上のリニア PCM 信号のファイルの再生中は、デジタル音声出力を停止します。
- 音量が最小になっています。音量を適切な大きさに調節してください。(P.44 ページ)
- ミューティング(消音)モードを解除してください。(P.45 ページ)
- パワーアンプをプリアンプ出力端子(PREAMP OUT)に接続する場合は、設定メニューの“プリアンプアウト”を“オン”に設定してください。(P.99 ページ)

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

インターネットラジオや USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。

- USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。
- ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。

パソコンの曲を再生中に音が途切れる。

- パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。
- お使いのパソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、音が途切れることがあります。

携帯電話で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。

- 携帯電話を本機から 20cm 以上離して通話してください。

Wi-Fi 接続時に音が途切れる。

- 無線 LAN で使用する周波数帯域は、電子レンジ・コードレスフォン・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・その他の無線 LAN 機器で使われます。そのため、これらの機器と本機を同時に使用すると、電波干渉により音途切れが発生する場合があります。次の方法をおこなうと、音途切れが改善される場合があります。(P.36 ページ)
 - 干渉している機器を本機から離して設置する。
 - 干渉している機器の電源を切る。
 - 本機に接続しているルーターのチャンネル設定を変更する。(チャンネルの変更のしかたは、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
 - 有線 LAN 接続に切り替える。
- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。(P.106 ページ)

レコード再生のときに、音がひずむ。

- 針圧を調節してください。
- レコードの針先を確認してください。
- カートリッジを交換してください。

レコード再生のときに、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される。

- レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。(P.26 ページ)
- レコードプレーヤーの近くにテレビや AV 機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビや AV 機器などから離して設置してください。

レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音がスピーカーから出力される。(ハウリング現象)

- レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。(P.26 ページ)
- スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。

希望する音が出ない

音量が上がらない。

- プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)から出力する音声信号の音量の上限値が低く設定されています。設定メニューの“音量の上限”で上限値を設定してください。(P.100 ページ)

ヘッドホンの音量が小さい。

- インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使用するときは、設定メニューの“HP アンプゲイン”の設定を“高”に切り替えてください。(P.100 ページ)

“低音”、“高音”および“バランス”の設定が反映されない。

- DIRECT ボタンを押して、ソースダイレクトモードをオフに設定してください。(P.91 ページ)

プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)に接続したパワーアンプから音声为正しく出力されない。

- パワーアンプとの接続を確認してください。(P.23 ページ)

AirPlay 再生ができない

iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac 上に AirPlay のアイコンが表示されない。

- 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク (LAN) に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。(☞36 ページ)
- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。

音が出ない。

- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の音量が最小になっています。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の音量と本機のプリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) から出力する音声の音量は連動しています。適切な値に設定してください。
- AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の画面で AirPlay アイコンをクリックして、本機を選択してください。(☞85 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad/Mac で AirPlay 再生時に音が途切れる。

- iPhone/iPod touch/iPad/Mac のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。
- 無線接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。

USB メモリーが再生できない

USB メモリーが認識できない。

- USB メモリーを接続し直してください。(P.35 ページ)
- マスストレージクラス対応の USB メモリーに対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは直接接続してください。
- USB メモリーのフォーマットを“FAT32”または“NTFS”に設定してください。
- すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続してください。

USB メモリー内のファイルを表示しない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.51 ページ)
- 本機が表示できるファイルのフォルダ階層は最大 8 階層です。また、1 階層あたり最大 5000 ファイル(フォルダ)です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。
- USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。

iOS および Android 機器が認識できない。

- 本機の USB 端子は、iOS および Android 機器の再生には対応していません。

USB メモリー内のファイルを再生できない。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.138 ページ)
- 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- ファイルサイズが 2MB を超えるアルバムアートを使用している場合、再生できない場合があります。

Bluetoothが再生できない

本機に Bluetooth 機器が接続できない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度接続をお試しください。
- 設定メニューの“Bluetooth”を“オン”に設定してください。“Bluetooth”を“オフ”に設定している場合は、Bluetooth 機能がはたらかしません。(☞ 107 ページ)

スマートフォンなどの Bluetooth 機器と接続できない。

- “ヘッドホン”を“オン”に設定している場合は、スマートフォンなどの Bluetooth 機器を接続できません。リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に切り替えてから Bluetooth 機器を接続してください。(☞ 107 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを接続できない。

- Bluetooth ヘッドホンを本機に近づけてください。
- Bluetooth ヘッドホンの電源を入れ直してからお試しください。
- 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で、“ヘッドホン”を“オン”に設定してください。(☞ 107 ページ)
- 本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されていないことを確認してください。設定メニューの“デバイス”設定で、Bluetooth ヘッドホンの接続状態を確認できます。(☞ 107 ページ)
本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されている場合は、現在接続されている Bluetooth ヘッドホンを切断してから、使用したい Bluetooth ヘッドホンを接続してください。
- 入力ソースを Bluetooth に設定している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。Bluetooth ヘッドホンを使用する場合は、本機をグループから外してください。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- Bluetooth ヘッドホンが A2DP プロファイルに対応していない場合は、本機に接続することはできません。
- 著作権保護技術 (SCMS-T) に対応した Bluetooth ヘッドホンのご使用をおすすめします。すべての Bluetooth 機器に対して接続や動作を保証するものではありません。
- 本機に接続できる Bluetooth ヘッドホンは 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth ヘッドホンを登録することができます。設定メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から登録済みの機器を切り替えることができます。(☞ 107 ページ)

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth の再接続操作をおこなってください。

Bluetooth ヘッドホンを使用すると音が途切れる、またはノイズが発生する。

- Bluetooth ヘッドホンの本機に近づけてください。
- 本機と Bluetooth ヘッドホンの間にある障害物を取り除いてください。
- Bluetooth ヘッドホンを再接続してください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- 本機および他の機器のルーターへの接続は、有線 LAN 接続をおすすめします。
- Bluetooth は 2.4GHz 帯域を使用しており、Wi-Fi の 2.4GHz 帯域の電波と干渉する可能性があります。使用しているルーターの Wi-Fi が 5GHz 周波数帯域に対応している場合、本機および他の機器の Wi-Fi 接続を 5GHz 周波数帯域に変更してください。

Bluetooth ヘッドホンの音声が遅延する。

- 本機は Bluetooth ヘッドホンの音声遅延を調節することはできません。

インターネットラジオが再生できない

ラジオ局のリストが表示されない。

- LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。(☞ 36 ページ)

インターネットラジオが再生できない。

- 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは WMA、MP3 と MPEG-4 AAC です。(☞ 143 ページ)
- ルーターのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。
- ルーターの電源が入っているか確認してください。
- 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。(☞ 47 ページ)
- ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。

お気に入りに登録したラジオ局に接続できない。

- ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局に登録してください。

パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)

パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。

- ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。(P.141 ページ)
- 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- 本機のUSB端子にパソコンを接続しても、パソコン内の音楽ファイルは再生できません。パソコンはネットワーク経由で本機に接続してください。(P.36 ページ)
- メディアの共有設定が正しくありません。本機がアクセスできるように設定を変更してください。詳しくはメディアの取扱説明書をご覧ください。

サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。

- パソコンまたはルーターのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルーターのファイアウォールの設定を確認してください。
- パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。
- サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。

パソコン内やNAS内のファイルが表示されない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.141 ページ)

NASに保存した曲が再生できない。

- DLNA 準拠のNASをご使用の場合は、NASの設定でDLNAサーバー機能を有効にしてください。
- DLNAに準拠していないNASをご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。また、Windows Media Playerのメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダにNASを追加してください。
- 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。

各種オンラインサービスが再生できない

各種オンラインサービスが再生できない。

- サービスが終了している可能性があります。

無線 LAN ネットワークに接続できない

ネットワークに接続できない。

- HEOS 機能搭載機器の設定をおこなう前に、スマートフォン/タブレットが無線 LAN ネットワークでホームネットワークに接続されていることを確認してください。(☞ 62 ページ)
- LAN ケーブル(市販)を使用して、本機をネットワークルーターに接続できます。LAN ケーブルで接続すると HEOS アプリは本機を認識しますので、“Settings” - “My Devices” - (“デバイス名”) - “ネットワーク” から接続する無線 LAN ネットワーク名を選び、手動で接続してください。
- 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しをよくしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。
- アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。
- 本機は WEP(TSN)との互換性はありません。

WPS ルーターに接続ができない。

- ルーターの WPS モードが動作しているか確認してください。
- ルーターの WPS ボタンを押してから 2 分以内に、本機リアパネルの CONNECT ボタンを 5 秒以上長押ししてください。(☞ 110 ページ)
- WPS2.0 規格に対応したルーター/設定が必要です。暗号化タイプを“無し”、“WPA-PSK(AES)”または“WPA2-PSK(AES)”に設定してください。
- ルーターの暗号化方式が WEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIP のいずれかの場合は、WPS ボタンを使用して接続することはできません。HEOS アプリで接続するか、iOS 端末の Wi-Fi 設定を共有して接続してください。(☞ 110 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。

- iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。
- また、無線接続で設定する場合は、iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。

スタンバイ中にネットワークに接続できない。

- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定してください。“ネットワーク制御”が“オフ”の場合、スタンバイ時にネットワーク機能を停止します。(☞ 108 ページ)

パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない(USB-DAC)

パソコンで本機が認識されない。

- ご使用のパソコンの USB 端子に USB ケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別の USB 端子に挿してください。(P.34 ページ)
- ご使用のパソコンを再起動してください。
- ご使用のパソコンの OS を確認してください。(P.73 ページ)
- ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。(P.74 ページ)

再生デバイスとして本機が選択されていない。

- パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。(P.73 ページ)

“入力無し”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。(P.81 ページ)

“非対応フォーマット”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応フォーマット”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。(P.81 ページ)
- ご使用のパソコンが macOS の場合は、“Audio MIDI 設定”で LINK 10n のフォーマットが “384.0kHz” 以下に設定されているか確認してください。(P.80 ページ)

デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC/Coaxial/Optical 1/2)

“入力無し”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。(P.71 ページ)

“非対応フォーマット”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応フォーマット”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。(P.71 ページ)
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。

入力ソースが“HDMI”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に切り替わる

本機に接続しているテレビの電源を入れると入力ソースが“HDMI”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に自動的に切り替わる。

- 設定メニューの“自動再生”を“オフ”に設定してください。(P.102 ページ)

HDMI コントロール機能がはたらかない

HDMI コントロール機能がはたらかない。

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているテレビの HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。

アップデート/アップグレードエラーメッセージ

アップデート/アップグレードが中断または失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ディスプレイ	内容
Connection failed. Please check your network, then try again.	ネットワークの回線が不安定です。 サーバーとの接続に失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Update failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Upgrade failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Please check your network, unplug and reconnect the power cord, and try again.	アップデートに失敗しました。 本体の  ボタンを 5 秒以上長押しするか、電源コードを挿入し直してください。 アップデート後は自動的に再起動します。
Please contact customer service in your area.	機器が故障している可能性があります。 お客様相談センターにお問い合わせください。

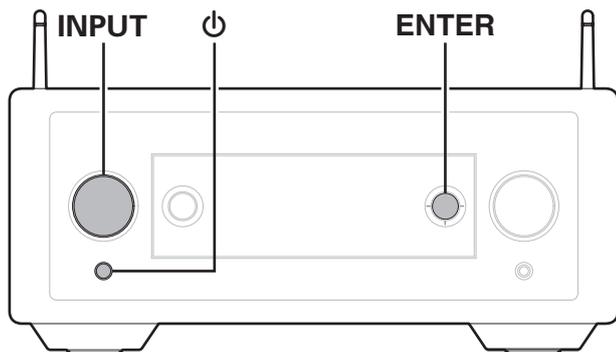
ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す

ネットワークコンテンツの再生やネットワーク接続ができない場合に、本機を再起動すると、改善することがあります。お買い上げ時の設定に戻す前に、再起動することをおすすめします。(P.118 ページ)

再起動しても動作が改善しない場合に、この操作をおこなってください。

ネットワーク設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。

ただし、設定メニューの“オーディオ”の設定は、リセットされません。



- 1 本体の **power** を押して、本機の電源を入れる。
- 2 入力ソース切り替えつまみ (INPUT) を回して “HEOS” を選び、ENTER を押す。
- 3 本機の電源が入っているときに、本体の ENTER を押しなが **power** を 3 秒以上長押しする。
- 4 ディスプレイに “お待ちください” が表示されたら、2つのボタンから指を離す。
- 5 リセットが完了すると、ディスプレイに “完了しました” を表示する。

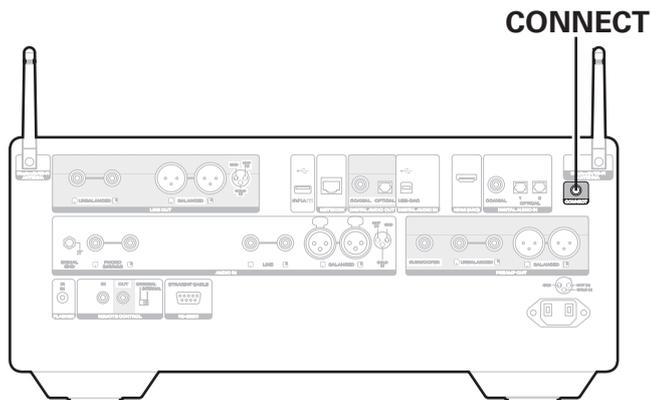
ご注意

- リセットが完了するまで、電源を切らないでください。

ファクトリーリストア

本機やネットワーク機能が正しく動作しない場合に、お買い上げ時のファームウェアに復元すると改善できる場合があります。設定メニューの“一般” - “リセット”を試しても動作しない場合にこの操作をおこなってください。(P.105 ページ)

ファクトリーリストアをおこなうと各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度ネットワーク設定およびファームウェアのアップデートをおこなってください。



- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 CONNECT を押しながら、電源コードを差し込む。
- 3 ディスプレイに“Factory Restore”が表示されたら、ボタンから指を離す。

ファクトリーリストアが完了すると、本機を自動的に再起動します。



- この操作はネットワークへの再接続、ファームウェアの復元およびアップデートを伴うため時間がかかります。
- この操作をおこなっても改善できない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。

ご注意

- ファクトリーリストアが完了するまで、電源を切らないでください。

警告

ファクトリーリストアを開始すると、本機に制限付きリカバリーファームウェアがインストールされます。インターネット経由でファームウェアのアップデートがおこなわれるまで、機能は制限されたままです。本機をネットワークに接続していない場合は、ファクトリーリストアをおこなわないでください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

USB メモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/Apple Lossless/DSD)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6/11.2MHz*3	-	.dsf/.dff

- *1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC) デコーダは Apache License Version 2.0 (<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>) に基づいて配布されています。
- *3 DSD 11.2MHz のサンプリング周波数はファームウェアアップデートにて対応します。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目	メディア	USB メモリー
フォルダの階層数 *1		8 階層
フォルダ数		500
ファイル数 *2		5000
1 つのファイルの最大サイズ		2GB

*1 制限数にはルートフォルダを含みます。

*2 USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

ご注意

- DSD ファイルを再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

デジタル入力

■ 再生できる音声信号の仕様

□ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6/ 11.2MHz	1 ビット
リニア PCM (2 チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/ 384kHz	16/24/32 ビット



- DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

□ HDMI ARC

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	16/20/24 ビット

□ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192kHz	16/24 ビット

Bluetooth 機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

■ Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

パソコンやNASに保存されているファイルの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/WAV/FLAC)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。
- 本機が再生できる 1 つの音声ファイルの最大ファイルサイズは 2GB です。

Twonky Media Server や jRiver Media Server などのサーバソフトウェアをネットワーク経由で再生するには、このオーディオフォーマットをパソコンや NAS にインストールする必要があります。利用可能な他のサーバソフトウェアもあります。サポートされている形式を確認してください。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/384kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6/11.2MHz*3	-	.dsf/.dff

- *1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC) デコーダは Apache License Version 2.0 (<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>) に基づいて配布されています。
- *3 DSD 11.2MHz のサンプリング周波数はファームウェアアップデートにて対応します。

ご注意

- DSD ファイルを再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

インターネットラジオの再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/ .m4a

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。

HDMI について

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **ARC(Audio Return Channel)機能**

ARC 機能対応のテレビと本機を HDMI 接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。

- **HDMI コントロール機能**

HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールできます。

- **入力ソースの切り替え**

テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースが“HDMI”に切り替わります。

- **電源オフ連動**

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。

- **音量調節**

テレビのリモコンを使用して、本機のアナログ音声出力端子(PREAMP OUT)から出力する音声信号の音量を調節できます。

- **音声出力先の切り替え**

本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。



- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。

用語の解説

■ 音声

AIFF (Audio Interchange File Format)

非圧縮ロスレス方式のデジタル音声ファイルフォーマットです。AIFF ファイルは、読み込んだ曲から高音質オーディオ CD を作成する場合に使用します。AIFF ファイルは、1 分あたり約 10MB のディスク領域を使用します。

Apple Lossless Audio Codec

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60~70%に圧縮されたデータは完全に元どおりのデータに再現できます。

DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC(Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright(C)

2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

リニア PCM

圧縮していないPCM(Pulse Code Modulation)信号です。MP3などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

MP3(MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽CDレベルの音質を保ったまま、約1/11のデータ容量に圧縮しています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート

ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone、iPod touch、iPad、Mac に収録されているコンテンツをネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

WEP Key(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

WPA(Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi アライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来の SSID(ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2(Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi アライアンスが策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA/WPA2 パーソナル

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

WPA2/WPA3 パーソナル

WPA2/WPA3 パーソナルモードは Wi-Fi Alliance®によって定義されています。ユーザーの混乱を最小限に抑え、WPA2 パーソナルのみのデバイスとの相互運用性を維持しながら WPA3 パーソナルへの段階的な移行パスを提供します。

WPA3 パーソナル

WPA2-Personal Pre-Shared Key (PSK) 認証を Equals の同時認証 (SAE) に置き換えます。PSK とは異なり、SAE はオフライン辞書攻撃に耐性があります。

ネットワーク名 (SSID: Service Set Identifier)

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID (ネットワーク名)」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっていきます。簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

■ その他

ソースダイレクト

入力された音声信号を、音質調節回路 (BASS/TREBLE/BALANCE) を通さずに出力するため、より原音に忠実な再生がおこなえます。

ペアリング

ペアリング (登録) とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

MM/MC カートリッジ

レコードプレーヤーに取り付けるカートリッジには、MM 型 (Moving Magnet) と、MC 型 (Moving Coil) の 2 種類があります。出力レベルがそれぞれ異なるため、本機に搭載しているフォノイコライザーアンプの設定を、お使いのカートリッジの種類に合わせて切り替える必要があります。設定の切り替えは、設定メニューの「フォノイコライザー」でおこなってください。(P.101 ページ)

登録商標について



Apple, AirPlay, iPad, iPad Air, iPad Pro, iPhone and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、DEI Sales, Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。



HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI のトレードドレスおよび HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



App Store®は、米国およびその他の国における登録商標です。



Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

ROON READY

Being Roon Ready means that Marantz uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.

主な仕様

■ オーディオ部

• アナログ音声(PREAMP OUT)

定格出力電圧/出カインピーダンス:

UNBALANCED: 1.58V/30Ω
BALANCED: 3.16V/140Ω
SUBWOOFER: 240mV/1.16kΩ

最大出力電圧:

UNBALANCED: 10V(1kHz, T.H.D. 0.05%)
BALANCED: 20V(1kHz, T.H.D. 0.05%)

ヘッドホン定格出力:

130mW(負荷 32Ω、1kHz, T.H.D. 0.7%)

歪み率(T.H.D.+N)(20Hz~20kHz):

0.001%

周波数特性:

5Hz~100kHz(+0dB/-3dB)

入力感度/ 入力インピーダンス:

PHONO(MC - 低): 400μV/32Ω
PHONO(MC - 中): 400μV/100Ω
PHONO(MC - 高): 400μV/390Ω
PHONO(MM): 3.6mV/39kΩ
BALANCED: 700mV/33kΩ
LINE: 350mV/47kΩ

PHONO 最大許容入力(1kHz):

MC: 8mV
MM: 80mV

RIAA 偏差(20Hz~20kHz):

±0.5dB

S/N(IHF A ネットワーク):

PHONO(MC): 76dB(0.5mV 入力)
PHONO(MM): 88dB(5mV 入力)
BALANCED: 122dB(4V 入力、定格出力)
LINE: 122dB(2V 入力、定格出力)

トーンコントロール:

BASS(50Hz) ± 10dB
TREBLE(15kHz) ± 10dB

• デジタル音声(LINE OUT)

チャンネル:

出力電圧:

歪み率(T.H.D.+N)(1kHz):

再生周波数範囲:

再生周波数特性:

SN比:

ダイナミックレンジ:

[PCM]

2チャンネル

UNBALANCED: 2.0V

BALANCED: 4.0V

0.0015%(可聴帯域)

2Hz~96kHz

2Hz~50kHz(-3dB)

(サンプリング周波数: 192kHz)

2Hz~20kHz(±1dB)

(サンプリング周波数: 44.1kHz)

113dB(可聴帯域)

112dB(可聴帯域)

[DSD]

2チャンネル

UNBALANCED: 2.0V

BALANCED: 4.0V

0.0004%(可聴帯域)

2Hz~100kHz

2Hz~50kHz(-3dB)

116dB(可聴帯域)

112dB(可聴帯域)

• デジタル音声(DIGITAL AUDIO OUT)

デジタル出力(COAXIAL):

デジタル出力(OPTICAL):

[PCM]

0.5Vp-p/75Ω

-19dBm

[DSD]

-

-

• デジタル音声(DIGITAL AUDIO IN)

COAXIAL:

OPTICAL:

USB:

0.5Vp-p/75Ω

-27dBm以上

USBタイプA(USB 2.0 ハイスピード)

USBタイプB(USB 2.0 ハイスピード)

■ 無線 LAN 部

ネットワーク種類(無線 LAN 規格):	IEEE 802.11a/b/g/n/ac に対応 (Wi-Fi®準拠)*1
セキュリティ:	WEP 64bit, WEP 128bit WPA/WPA2-PSK(AES) WPA/WPA2-PSK(TKIP) WPA3-SAE(AES)
使用周波数帯域:	2.4GHz、5GHz

*1 Wi-Fi®準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 5.4
送信出力	Bluetooth Specification Power Class 1
最大通信範囲:	見通し距離 約 30m *2
使用周波数帯域:	2.4GHz
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	受信機能 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.4 AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) 1.5 送信機能 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.4
対応コーデック:	SBC
伝送範囲(A2DP):	20Hz~20,000Hz

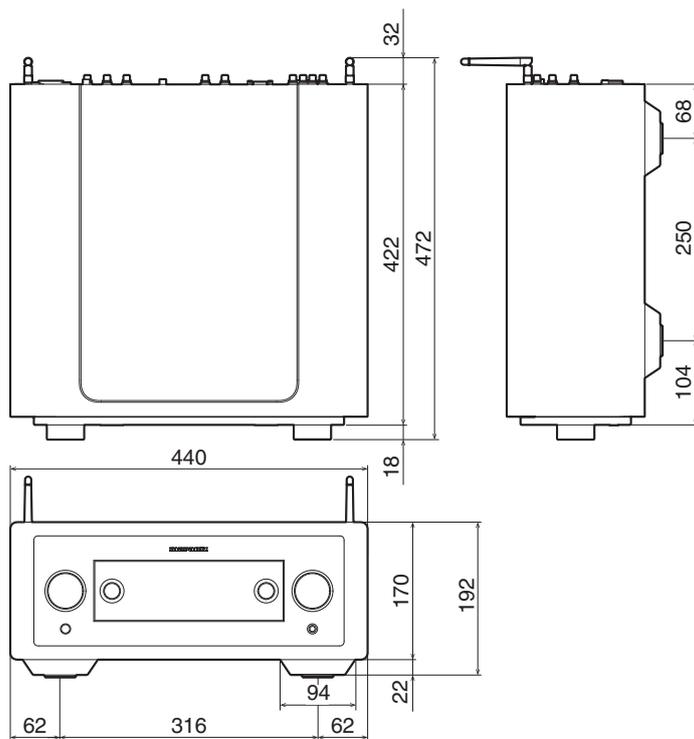
*2 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ 総合

動作温度:	+5 °C~+35 °C
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	75W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W
“ネットワーク制御”-“オン”時の消費電力:	2W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:33.3kg

索引

🔍 A

AirPlay 84

🔍 B

Bluetooth 機器 54

🔍 D

D/A コンバーター機能 71, 139

🔍 H

HEOS アカウント 64

HEOS お気に入り 89

🔍 N

NAS 48, 141

🔍 S

Spotify 87

🔍 U

USB-DAC 34, 73, 139

USB メモリー 35, 51

🔍 あ

アンプ 23, 32

🔍 い

インターネットラジオ 46

🔍 お

オートスタンバイ 105

🔍 か

外部コントロール機器 38

🔍 こ

故障かな?と思ったら 118

こんなときの解決方法 116

🔍 す

スリープタイマー 93

🔍 せ

設定メニュー一覧 95

🔍 て

ディスプレイの明るさ 92

テレビ 28

に

入力ソース 44

ね

ネットワークの設定 106

は

パソコン 36, 48, 141

パワーアンプ 23

ふ

フロントパネル 10

へ

ペアリング 54

む

無線 LAN の接続 37

ゆ

有線 LAN 36

り

リアパネル 13

リモコン 16

marantz

Printed in Japan 5411 12148 00ASA
© 2024 Masimo. All Rights Reserved.